

## 小金井市保健福祉総合計画（地域福祉計画） の策定に伴うアンケート調査結果

### （1） 調査の概要

本調査は、市が平成 23 年度に小金井市総合保健福祉計画を策定するのに際し、市民の福祉に関する考え方や地域活動への参加状況などについて実態を把握し、計画や施策を進める上で基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

### （2） 調査設計

調査地域 : 小金井市全域  
 調査対象 : 市内在住の 20 歳以上の方  
 標本数 : 2,000 サンプル  
 抽出法 : 住民基本台帳から無作為抽出  
 調査期間 : 平成 23 年 3 月  
 調査方法 : 郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

### （3） 回収結果

配布数	回収数	回収率
2,000	768	38.4%

### （4） 報告書の見方

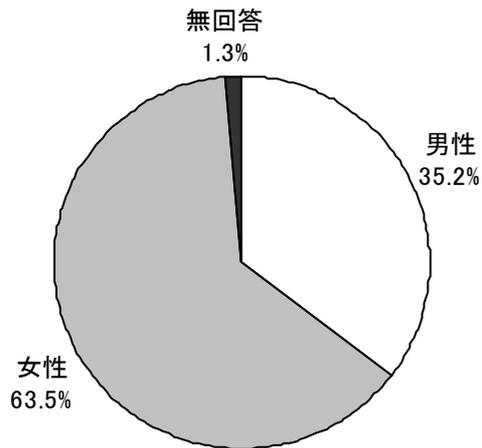
- 回答結果の割合（％）は有効サンプル数（集計対象者総数）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の n (number of case) は、サンプル数（集計対象者総数）を表しています。

# 1. あなたご自身について

## 問1 あなたの性別はどちらですか。(どちらかに○)

性別については、「男性」が 35.2%、「女性」が 63.5%となっており、女性の方が多くなっています。

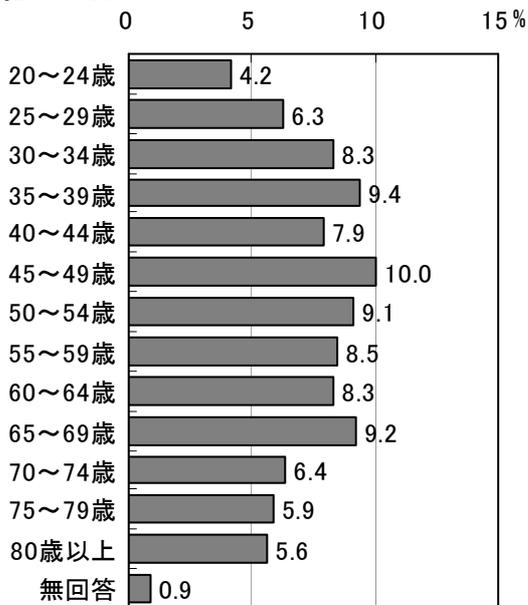
問1 n=768



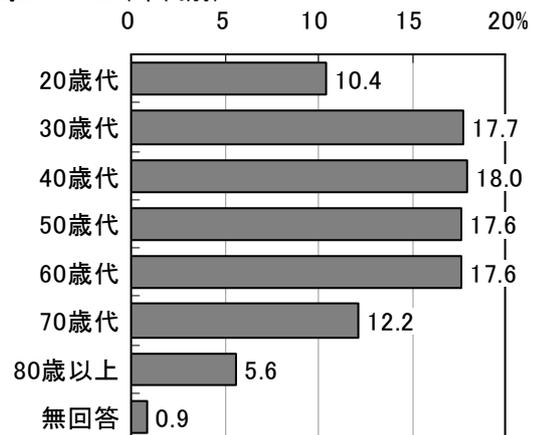
## 問2 あなたの年齢は次のどれですか。(ひとつだけ○)

年齢については、「45～49歳」が 10.0%と最も多く、次いで「35～39歳」が 9.4%、「65～69歳」が 9.2%となっています。

問2 n=768



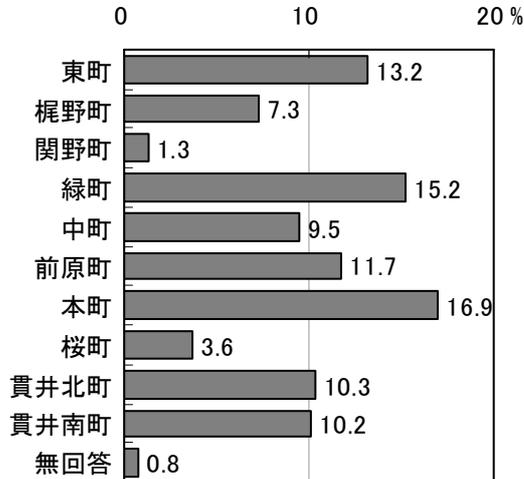
問2 n=768(年代別)



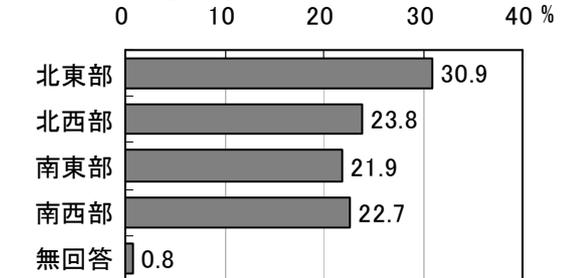
### 問3 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。(ひとつだけ○)

居住地域については、「本町」が16.9%と最も多く、次いで「緑町」が15.2%、「東町」が13.2%となっています。

問3 n=768



問3 n=768(地域別)

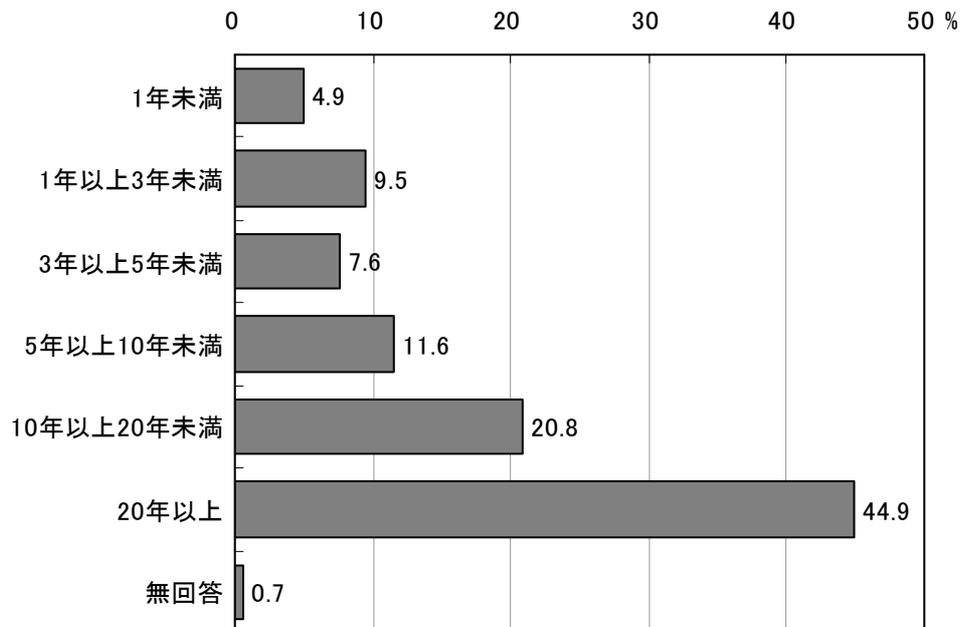


- 北東部：本町、桜町、貫井北町
- 北西部：梶野町、関野町、緑町
- 南東部：前原町、貫井南町
- 南西部：東町、中町

### 問4 あなたは小金井市に住んでどのくらいになりますか。(ひとつだけ○)

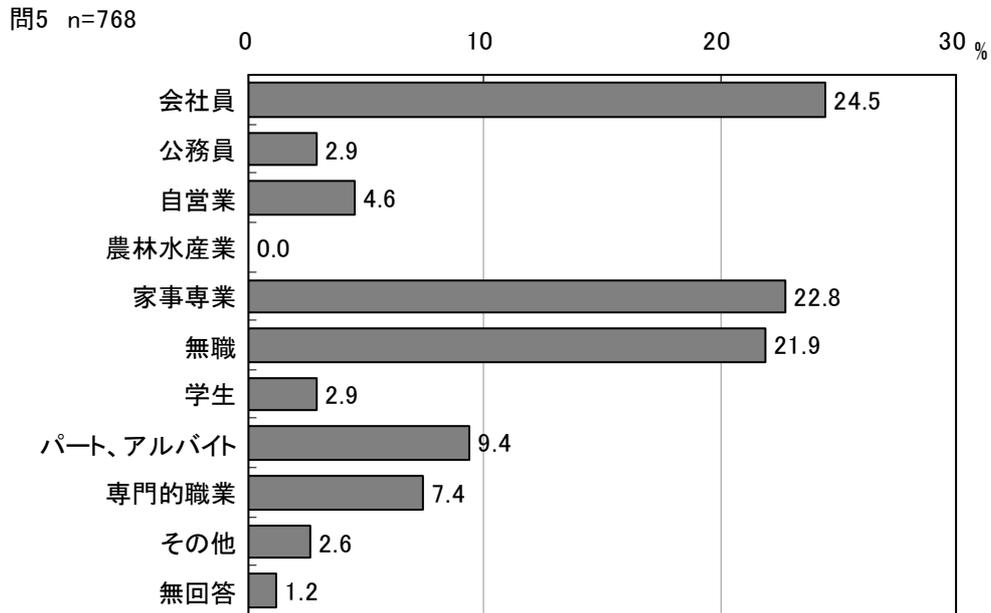
居住期間については、「20年以上」が44.9%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が20.8%、「5年以上10年未満」が11.6%となっており、長期間居住している方が多くなっています。

問4 n=768



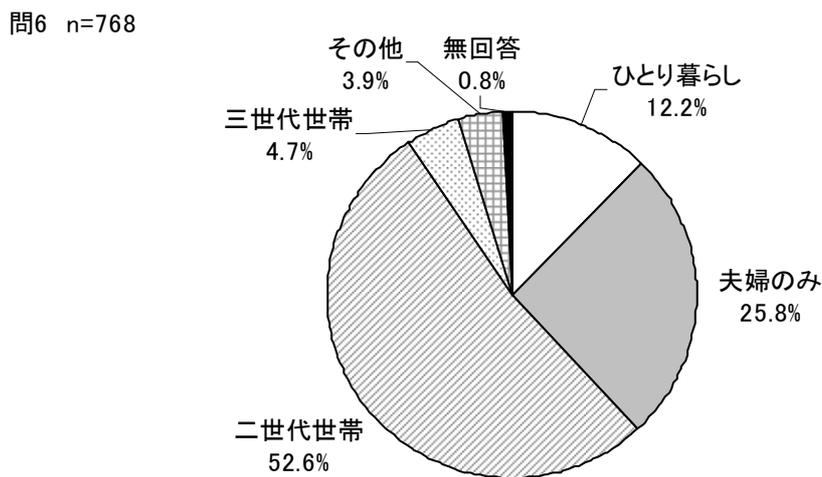
**問5 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)**

職業については、「会社員」が 24.5%と最も多く、次いで「家事専業」が 22.8%、「無職」が 21.9%となっています。



**問6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)**

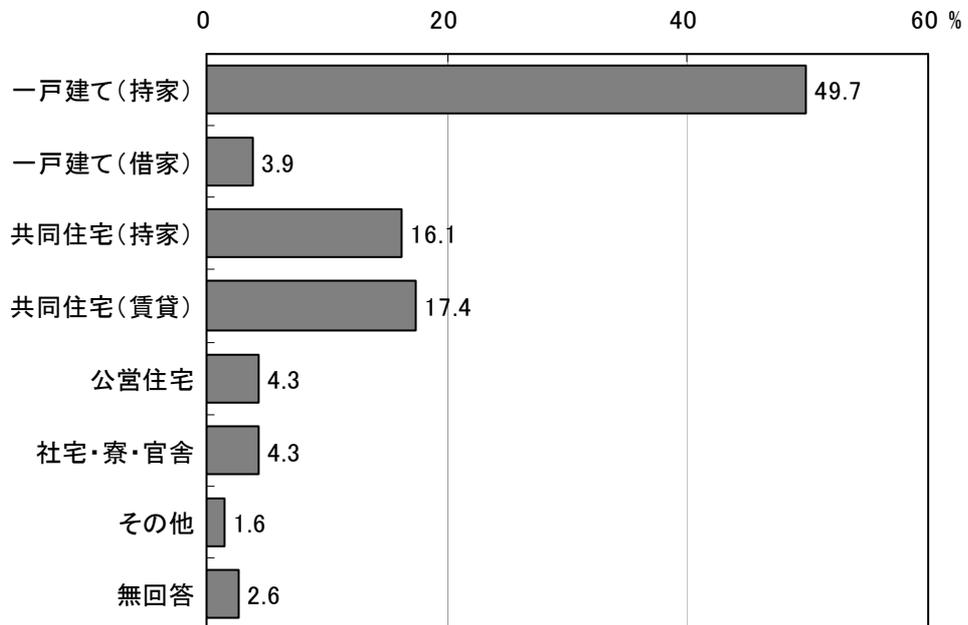
家族構成については、「二世帯世帯」が 52.6%と半数を超えて最も多く、次いで「夫婦のみ」が 25.8%、「ひとり暮らし」が 12.2%となっています。



### 問7 あなたの住居形態はどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

住居形態については、「一戸建て(持家)」が49.7%と約半数を占め最も多く、次いで「共同住宅(賃貸)」が17.4%、「共同住宅(持家)」が16.1%となっています。

問7 n=768



## 2. 「福祉」について

### 問8 あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(ひとつだけ○)

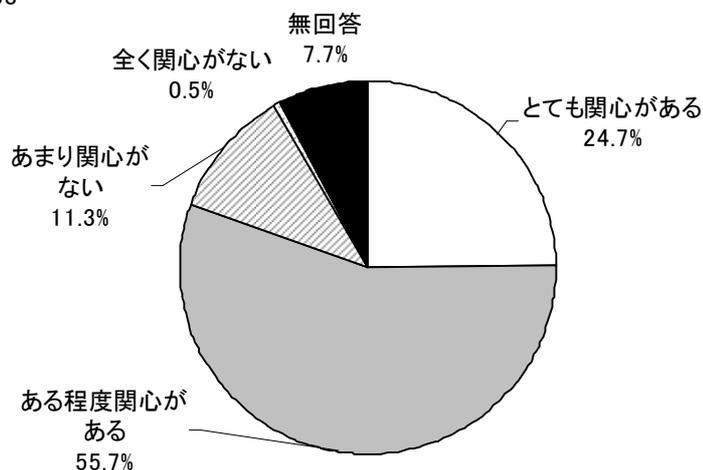
福祉への関心については、「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』が80.4%と8割を超え、福祉への関心が高いことがうかがえます。

年代別にみると、30歳から70歳では、年代があがるにつれて「とても関心がある」の割合が多くなっています。一方で、20歳代では「あまり関心がない」が2割を超えています。

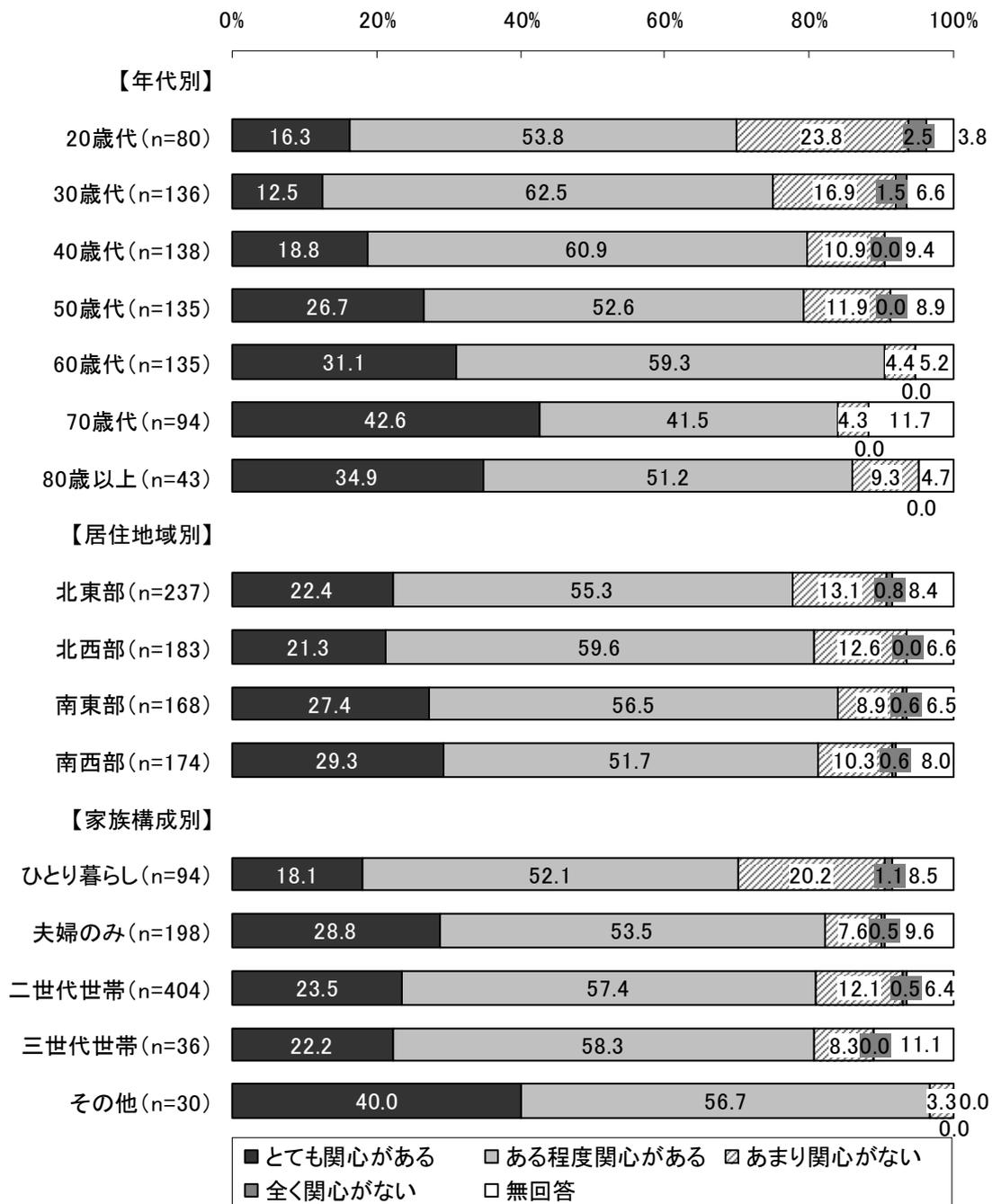
居住地域別にみると、地域で大きな違いはみられないものの、南東部で『関心がある』がやや多くなっています。

家族構成別にみると、「とても関心がある」がその他の世帯で4割、夫婦のみの世帯で3割弱と比較的高くなっています。一方で、ひとり暮らし世帯ではあまり関心がない」が2割を超えています。

問7 n=768

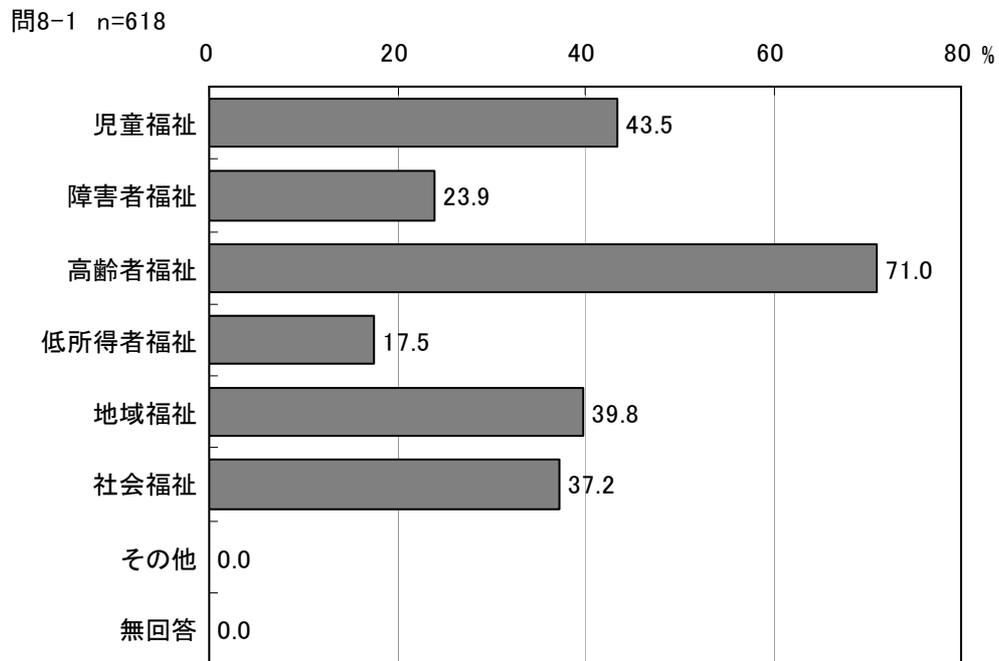


■年代／居住地／家族構成別



**問8-1 《問8で「とても関心がある」「ある程度関心がある」と答えた方》  
特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。(あてはまるものすべてに○)**

関心のある福祉分野については、「高齢者福祉」が71.0%と7割を超え最も多く、次いで「児童福祉」が43.5%、「地域福祉」が39.8%となっています。

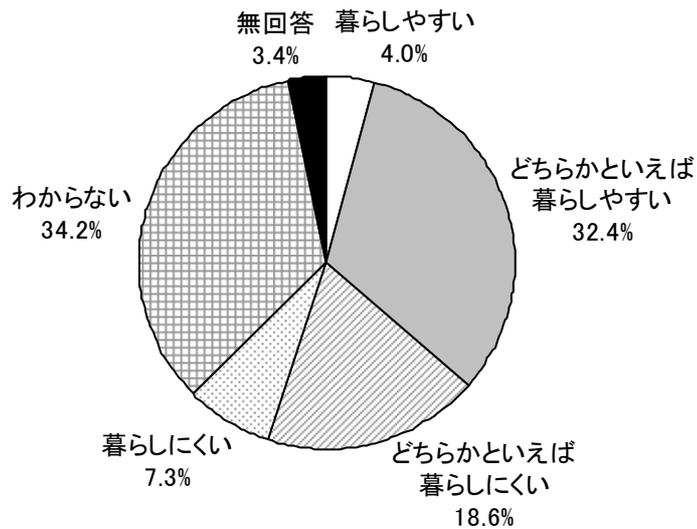


**問9 小金井市は子どもや高齢者、障害のある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(ひとつだけ○)**

小金井市が子どもや高齢者、障害のある人などにとって暮らしやすいまちだと思うかについては、「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』が36.4%となっています。

一方で「わからない」も34.2%となっており、『暮らしやすい』と感じている方とほぼ同程度となっています。

問9 n=768

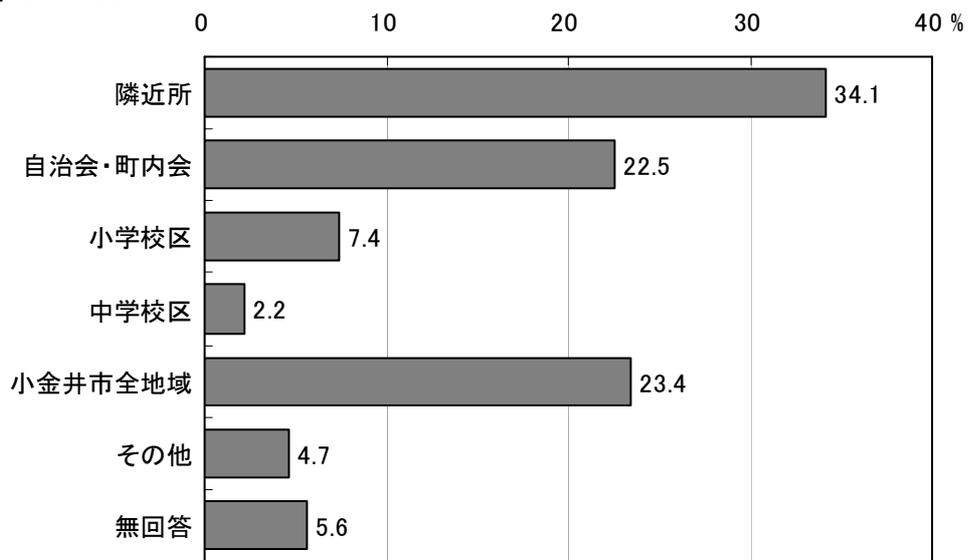


### 3. 「地域」との関わりについて

問10 あなたにとって助け合い、支え合える「地域」とは、こういった範囲ですか。  
(ひとつだけ○)

「地域」の範囲については、「隣近所」が34.1%と最も多く、次いで「小金井市全地域」が23.4%、「自治会・町内会」が22.5%となっています。

問10 n=768



**問 11 あなたはご自分がお住まいになっている町内の住み心地に満足していますか。  
(ひとつだけ○)**

居住している町内の住み心地に満足しているかについては、「かなり満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた『満足』が 66.3%となっており、「あまり満足していない」と「全く満足していない」を合わせた『不満』の 10.8%を大きく上回っています。

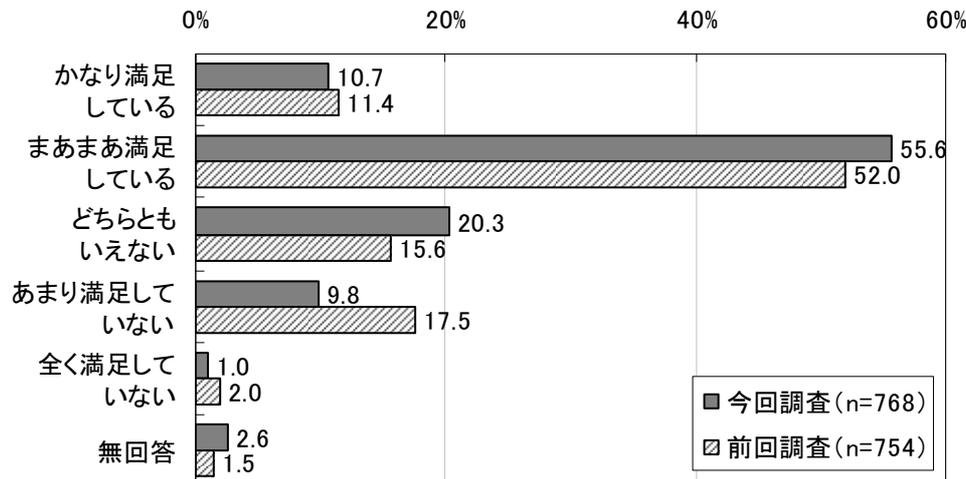
前回調査との比較では、「あまり満足していない」が 5ポイント以上減少しています。

年代別にみると、『満足』が 20 歳代から 40 歳代は減少傾向にあるものの、50 歳以上では多くなり、80 歳以上では約 8 割となっています。また、30～50 歳代で『不満』が 1 割を超えており、比較的多くなっています。

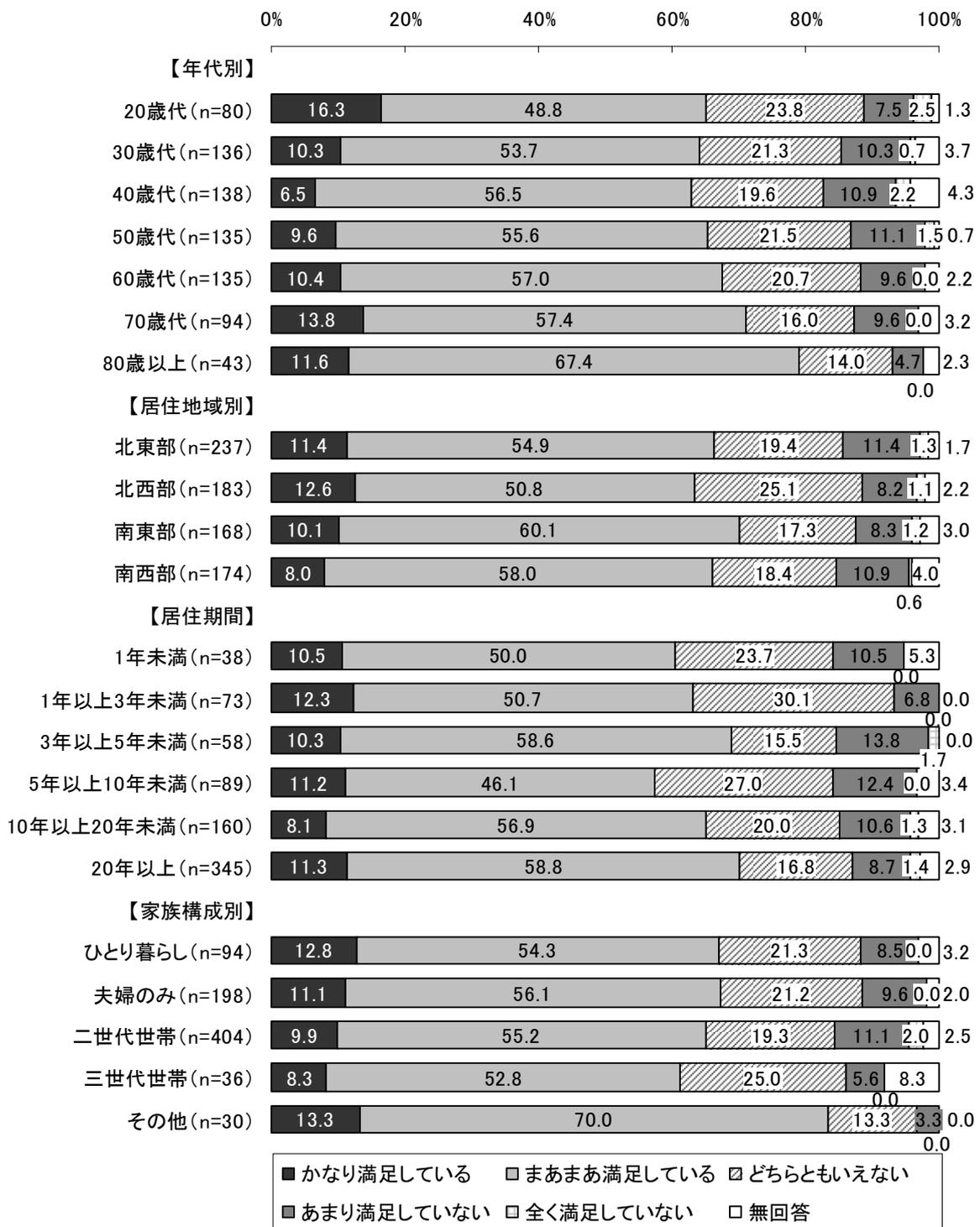
居住地域別にみると、地域で大きな違いはみられないものの、南西部で「かなり満足している」がやや低くなっています。

居住期間別にみると、居住期間の長さで大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、『満足』がひとり暮らし世帯と夫婦のみの世帯で 7 割弱となっているものの、二世帯世帯と三世帯世帯で割合が低くなっています。また、二世帯世帯では『不満』が 1 割を超えています。



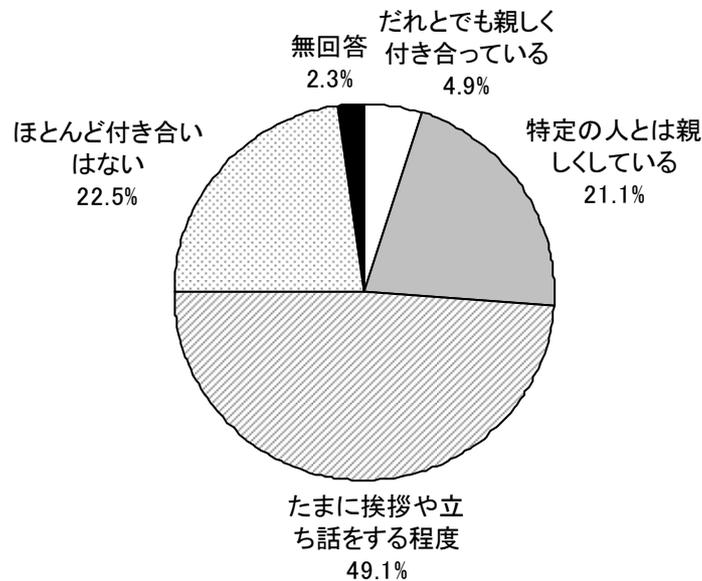
■年代／居住地域／居住期間／家族構成別



**問 12 あなたは、町内の人とはどの程度お付き合いをしていますか。(ひとつだけ○)**

町内の人との付き合いの程度については、「たまに挨拶や立ち話をする程度」が 49.1%と約半数を占め最も多く、次いで「ほとんど付き合いがない」が 22.5%、「特定の人と親しくしている」が 21.1%となっています。

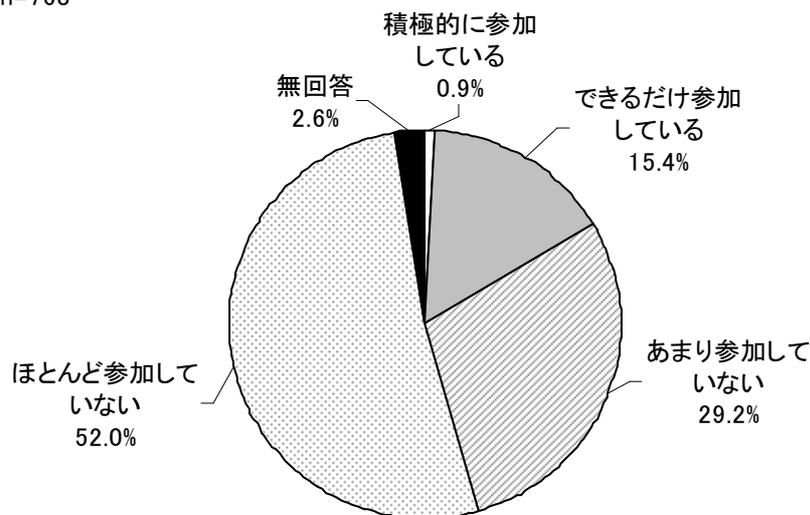
問12 n=768



**問 13 あなたは、町内の行事や活動等に参加していますか。(ひとつだけ○)**

町内の行事や活動等への参加状況については、「ほとんど参加していない」が 52.0%と半数を超え最も多く、次いで「あまり参加していない」が 29.2%となっており、積極的に参加している方が少ないことがうかがえます。

問13 n=768



#### 問 14 今の近所づきあいには満足していますか。(ひとつだけ○)

今の近所づきあいに満足しているかについては、「かなり満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』が約7割を占めています。

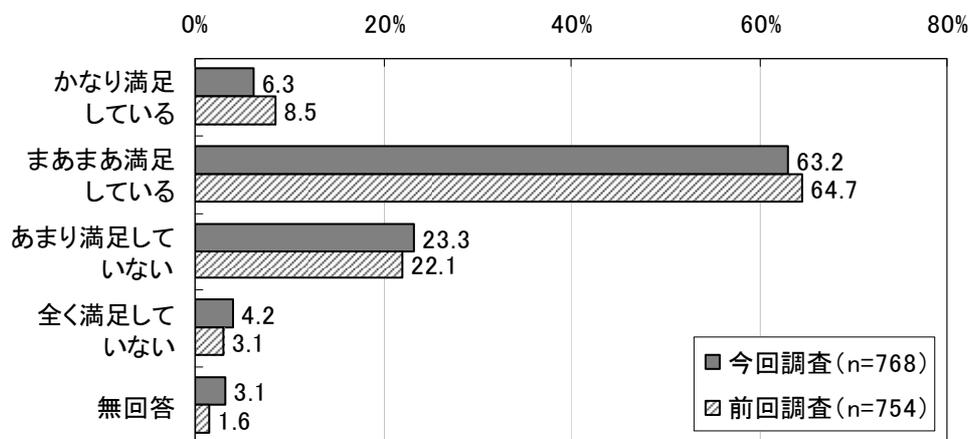
前回調査との比較では、傾向に大きな変化はみられません。

年代別にみると、20歳代で『満足している』が8割弱となっているものの、他の年代では大きな違いはみられません。

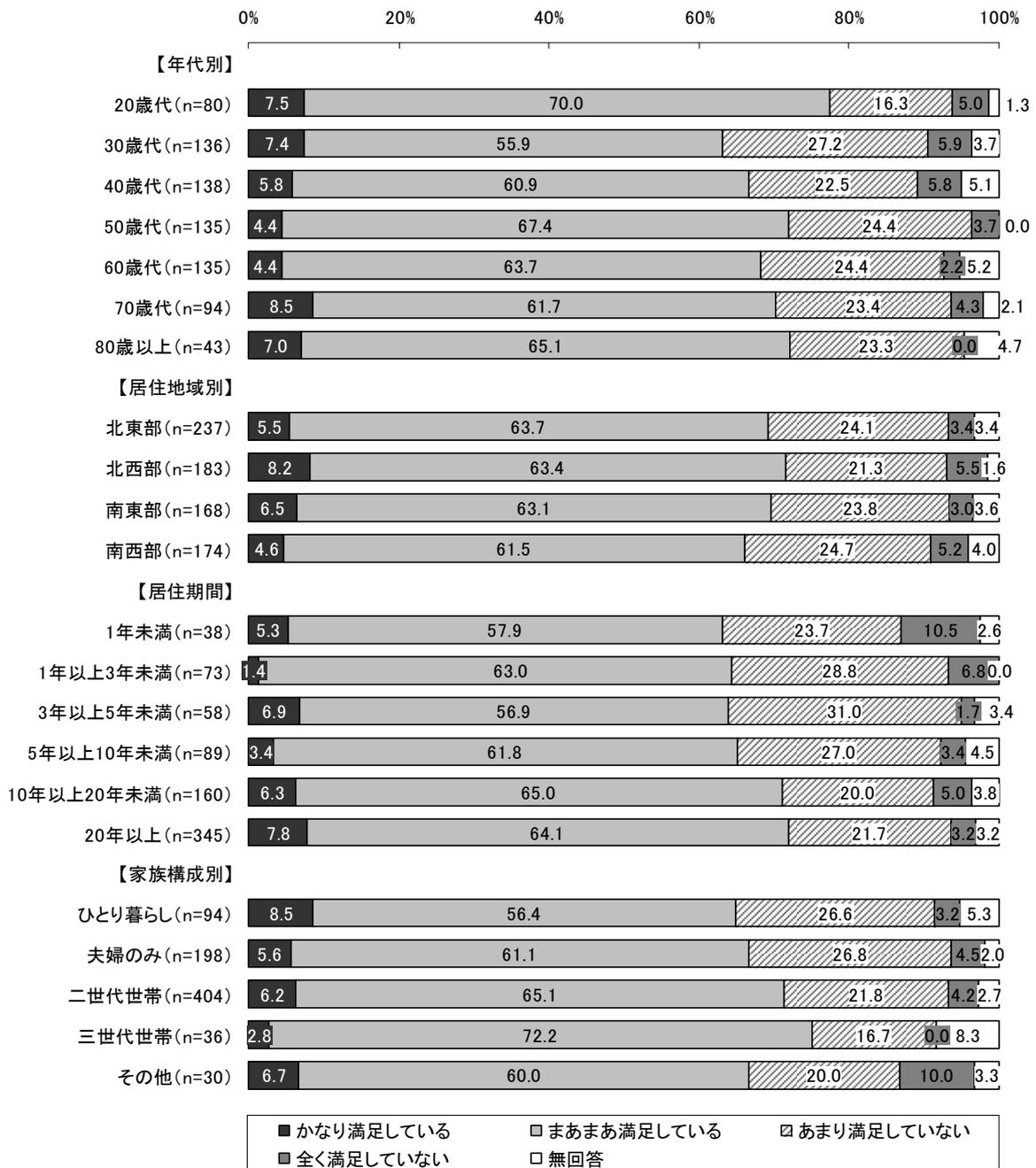
居住地域別にみると、地域で大きな違いはみられません。

居住期間別にみると、居住期間が10年以上で『満足している』が比較的多くなっているものの、その他の項目では大きな違いはみられません。

家族構成別にみると、三世帯世帯で「かなり満足している」が低くなっているものの、『満足している』の割合が世帯の構成人数が増えるとともに多くなっています。



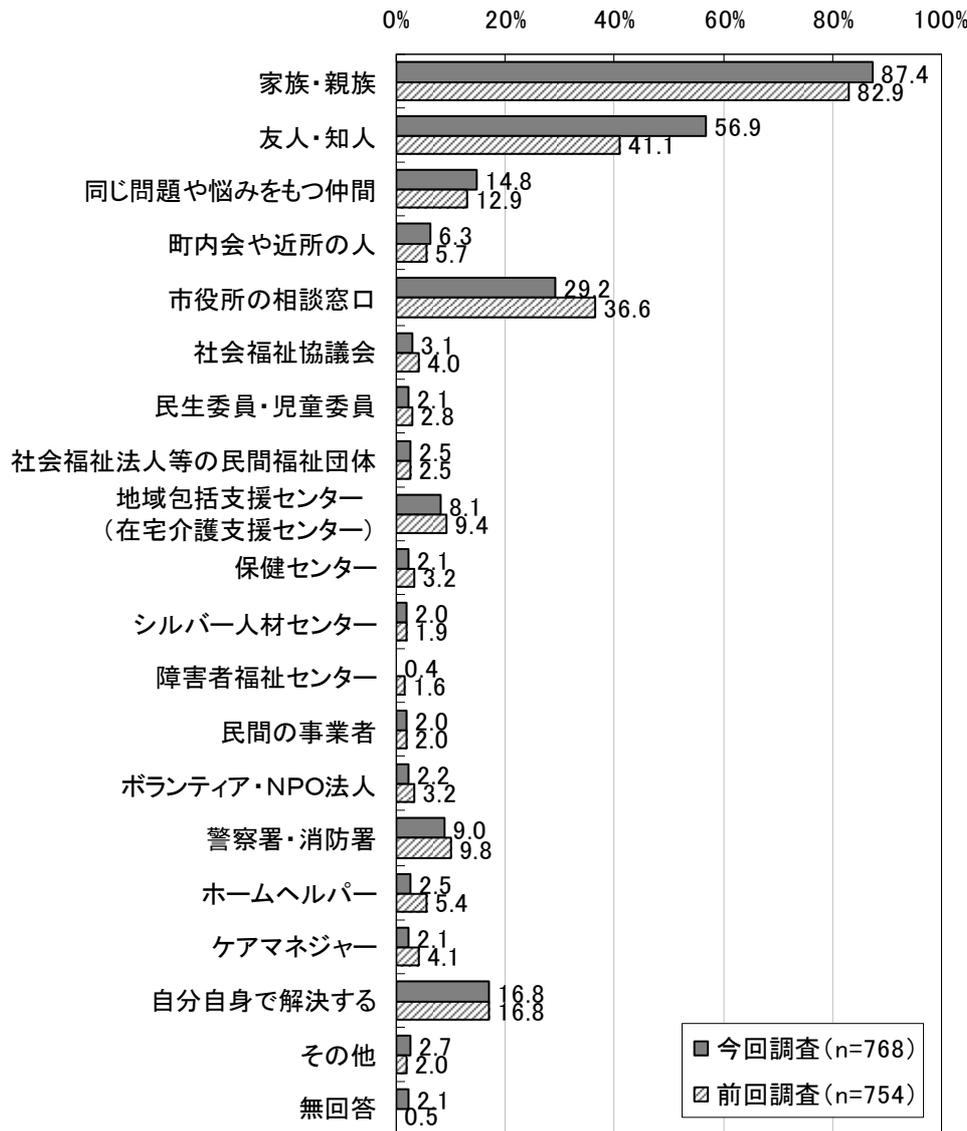
## ■年代／居住地域／居住期間／家族構成別



**問 15 あなたが生活上の問題で相談や助けが必要なとき、だれに手助けを頼みたいですか。**  
**(〇は3つ以内)**

生活上の問題で相談や助けが必要なとき、手助けを頼みたい相手については、「家族・親族」が87.4%と最も多く、次いで「友人・知人」が56.9%、「相談窓口」が29.2%となっており、身近な人間に手助けを頼む傾向がうかがえます。

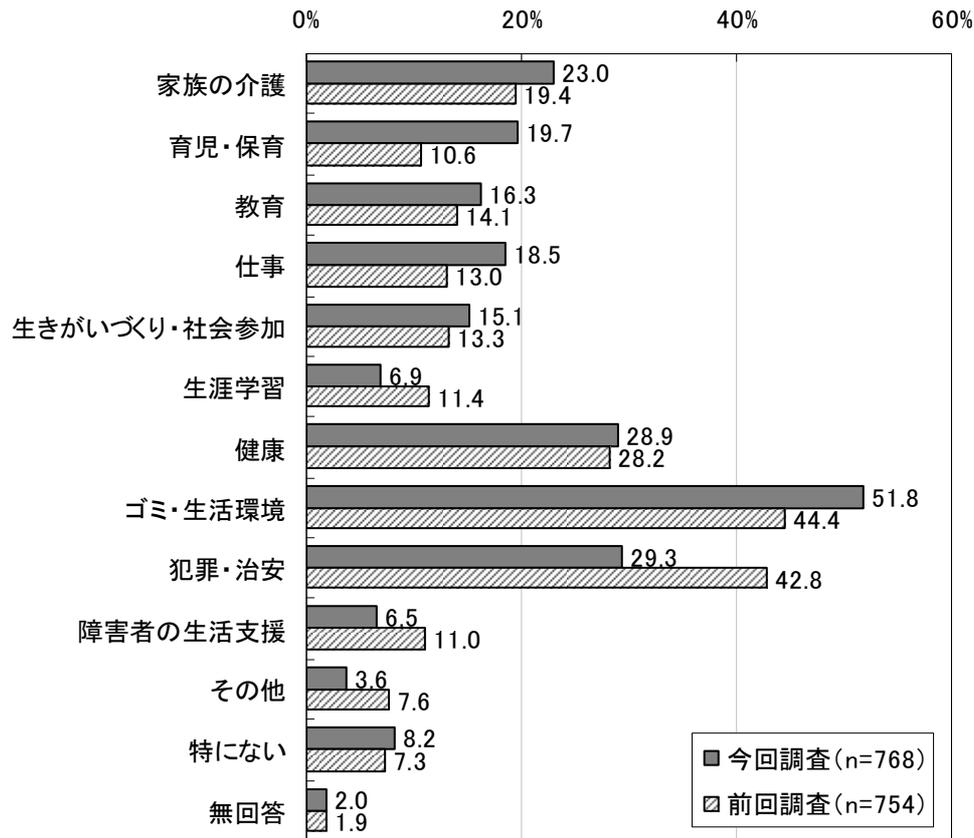
前回調査との比較では、「友人・知人」の割合が今回調査で10ポイント以上上昇しているのに対し、「市役所の窓口」では前回調査よりも5ポイント以上減少しています。



**問 16 あなたが日々暮らしていくにあたり、解決してほしいと思うのはどのようなことですか。(〇は3つ以内)**

日々暮らしていくにあたり、解決してほしいと思うことについては、「ゴミ・生活環境」が51.8%と半数を超え最も多く、次いで「犯罪・治安」が29.3%、「健康」が28.9%となっています。

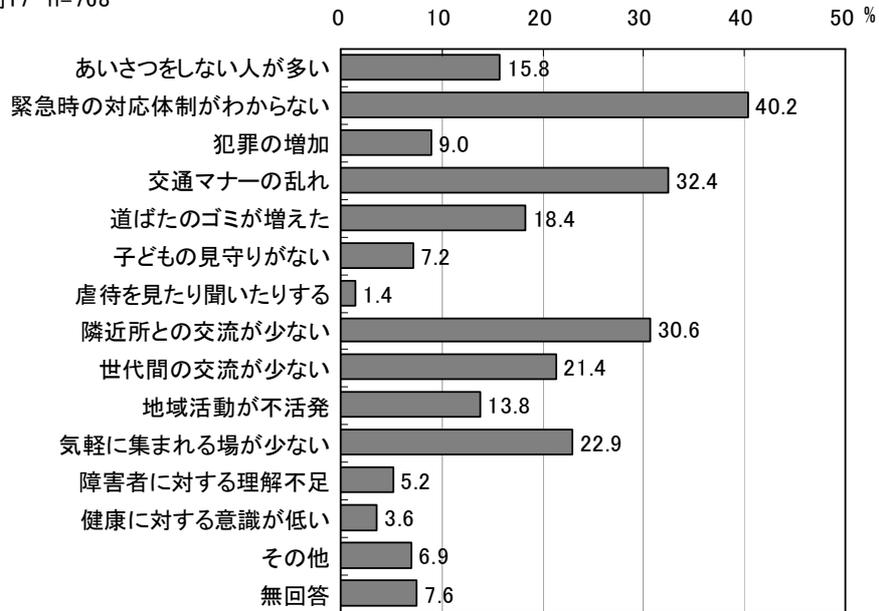
前回調査との比較では、「育児・保育」「ゴミ・生活環境」の割合が今回調査で5ポイント以上上昇しているのに対し、「犯罪・治安」では前回調査よりも10ポイント以上減少しています。



**問 17 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)**

居住している地域の中での問題点・不足していると思うものについては、「緊急時の対応体制がわからない」が40.2%と最も多く、次いで「交通マナーの乱れ」が32.4%、「隣近所との交流が少ない」が30.6%となっています。

問17 n=768



**問 18 日常生活の中で起こる問題(※)に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(ひとつだけ○) ※ 問 16 または問 17 でお答えになったことなど**

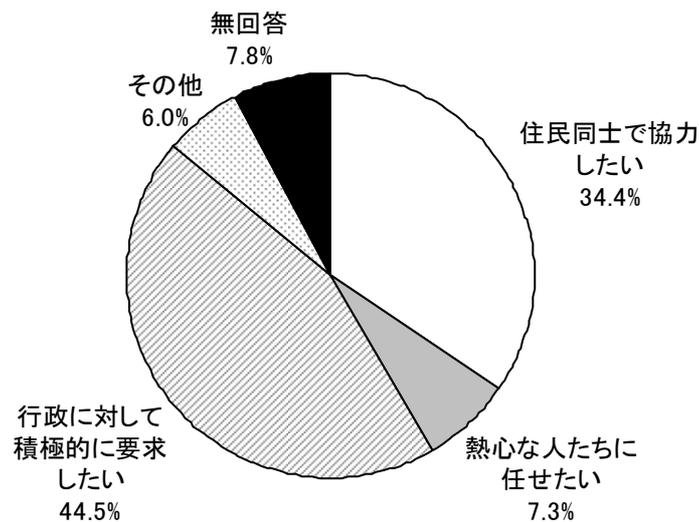
日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思うかについては、「行政に対して積極的に要求したい」が 44.5%と最も多く、次いで「住民同士で協力したい」が 34.4%となっています。「行政に対して積極的に要求したい」と「熱心な人たちに任せたい」を合わせると、半数を超える方が他人に任せたいと考えていることがうかがえます。

年代別にみると、60 歳以下では「行政に対して積極的に要求したい」が最も多くなっているものの、70 歳以上では「住民同士で協力したい」が最も多くなっています。また、30 歳以下では「熱心な人たちに任せたい」が 1 割を超えています。

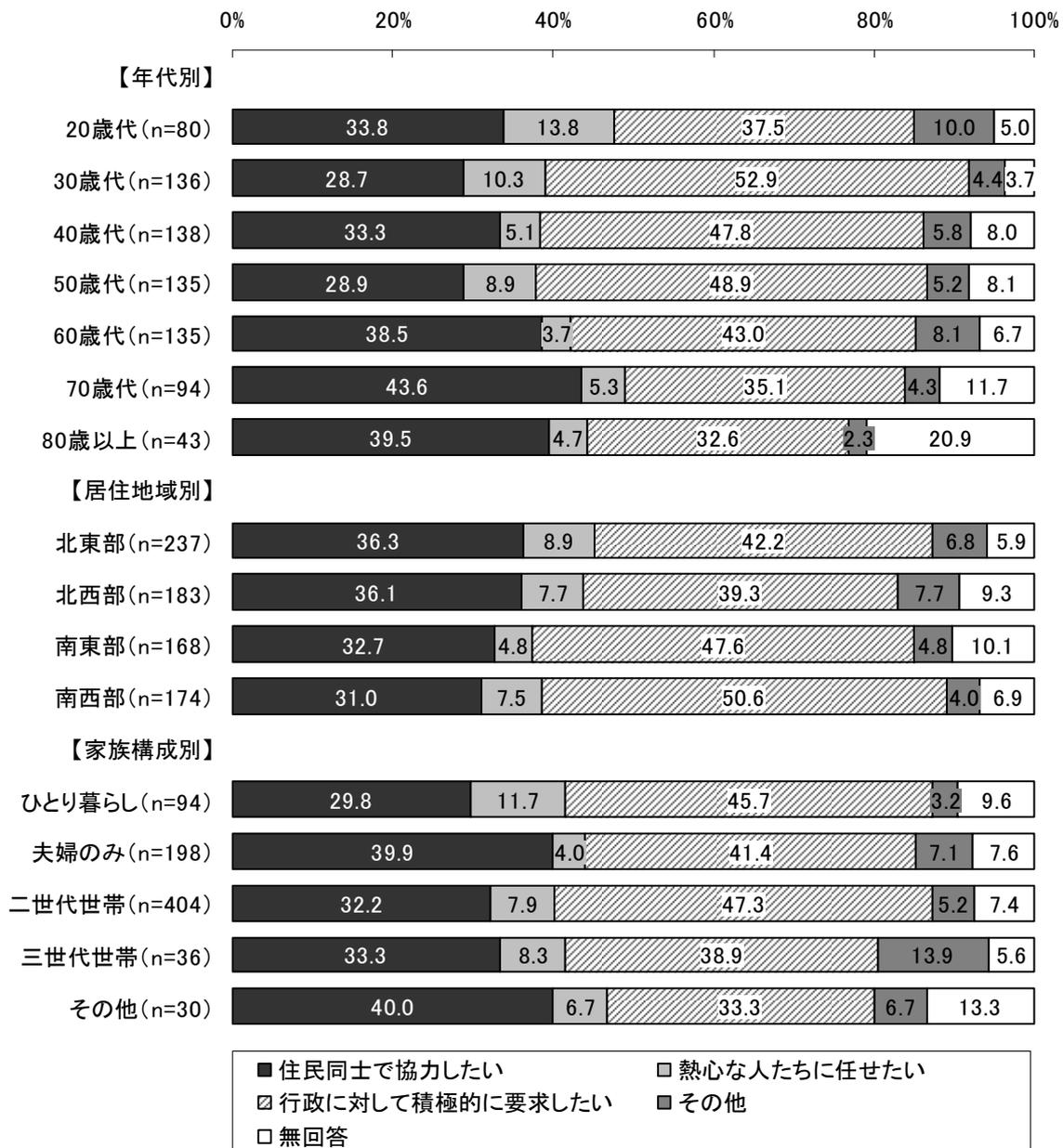
居住地域別にみると、すべての地域で「行政に対して積極的に要求したい」が最も多くなっているものの、南部（南東部・南西部）との比較では北部（北東部・北西部）で比較的「住民同士で協力したい」が多くなっています。

家族構成別にみると、その他の世帯をのぞくすべての世帯で行政に対して積極的に要求したい」が最も多くなっているものの、夫婦のみの世帯では「住民同士で協力したい」が約 4 割と比較的多くなっています。

問18 n=768



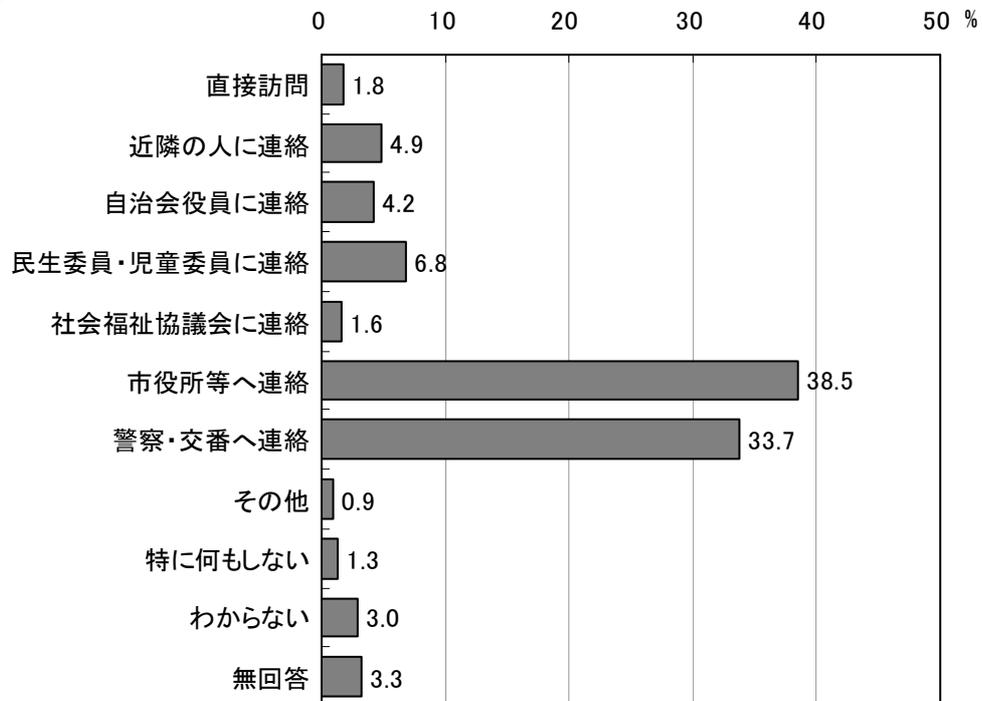
## ■年代／居住地／家族構成別



**問 19 もし、あなたの周辺で孤独死や児童・高齢者虐待などが起きるおそれがある状況を知ったら、最初にどのように対応しますか。(ひとつだけ○)**

周辺で孤独死や児童・高齢者虐待などが起きるおそれがある場合の対応については、「市役所等へ連絡」が 38.5%と最も多く、次いで「警察・交番へ連絡」が 33.7%となっています。

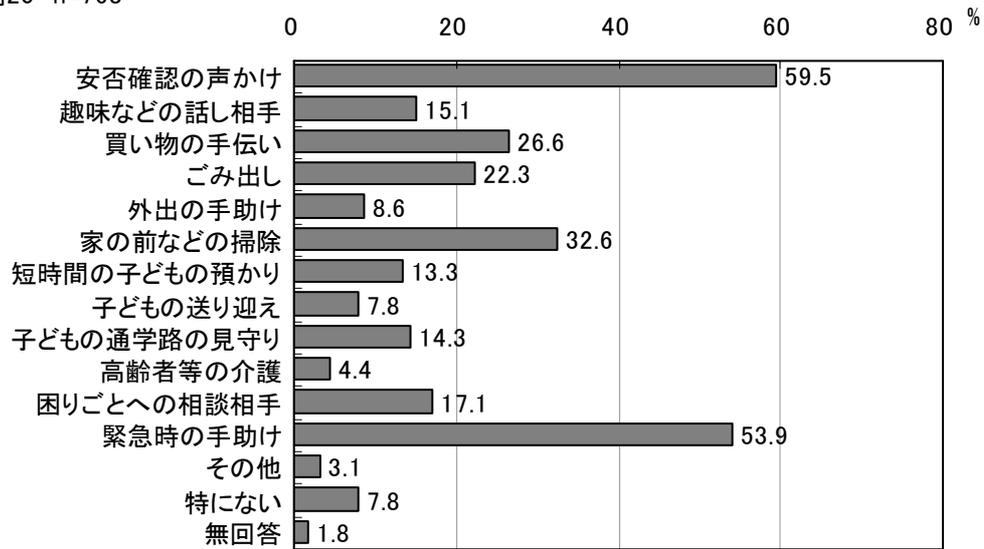
問19 n=768



**問 20 隣近所で、高齢者や障害者の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。（あてはまるものすべてに○）**

隣近所で、高齢者や障害者の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合にできる手助けについては、「安否確認の声かけ」が 59.5%と約 6 割を占め最も多く、次いで「緊急時の手助け」が 53.9%、「家の前などの掃除」が 32.6%となっています。

問20 n=768

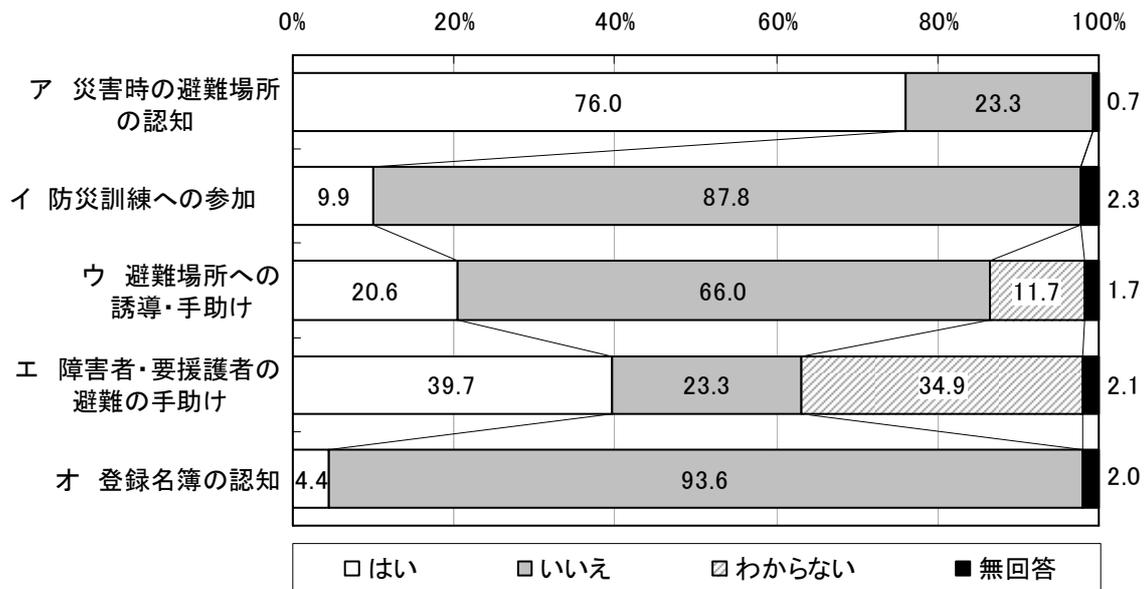


**問 21 あなたは防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応について、どのようにお考えですか。（それぞれひとつだけ○）**

防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応への考え方については、“災害時の避難場所の認知”で「はい（知っている）」が76.0%と最も多くなっているものの、“防災訓練への参加”や“登録名簿の認知”については「はい（参加している／知っている）」が1割を切っている状況です。

また、“避難場所への誘導・手助け”や“障害者・要援護者の避難の手助け”では、「わからない」と回答する方が1割強から3割強みられます。

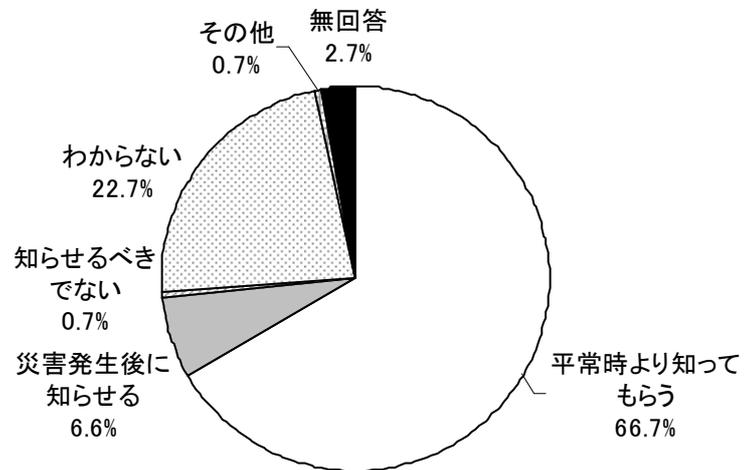
問21 n=768



**問 22 災害時要援護者の情報をどのように支援者に知らせるべきだと思いますか。**  
**(ひとつだけ○)**

支援者への災害時要援護者に関する情報提供の方法については、「平常時より知ってもらう」が66.7%と最も多く、次いで「わからない」が22.7%となっています。

問22 n=768



## 4. 地域活動やボランティア活動などについて

### 問23 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか。(ひとつだけ○)

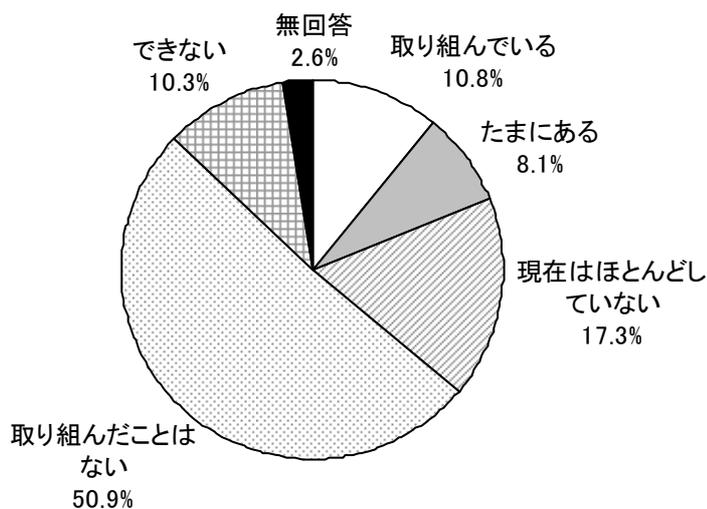
地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等への取り組み状況については、「取り組んだことはない」が50.9%と約半数を占め最も多く、次いで「現在はほとんどしていない」が17.3%となっており、「できない」と回答した方と合わせると、8割弱の方が『取り組んでいない』となっています。

年代別にみると、70歳代までは「取り組んでいる」が年代とともに上昇しているものの、すべての世帯で「取り組んだことはない」が最も多くなっています。

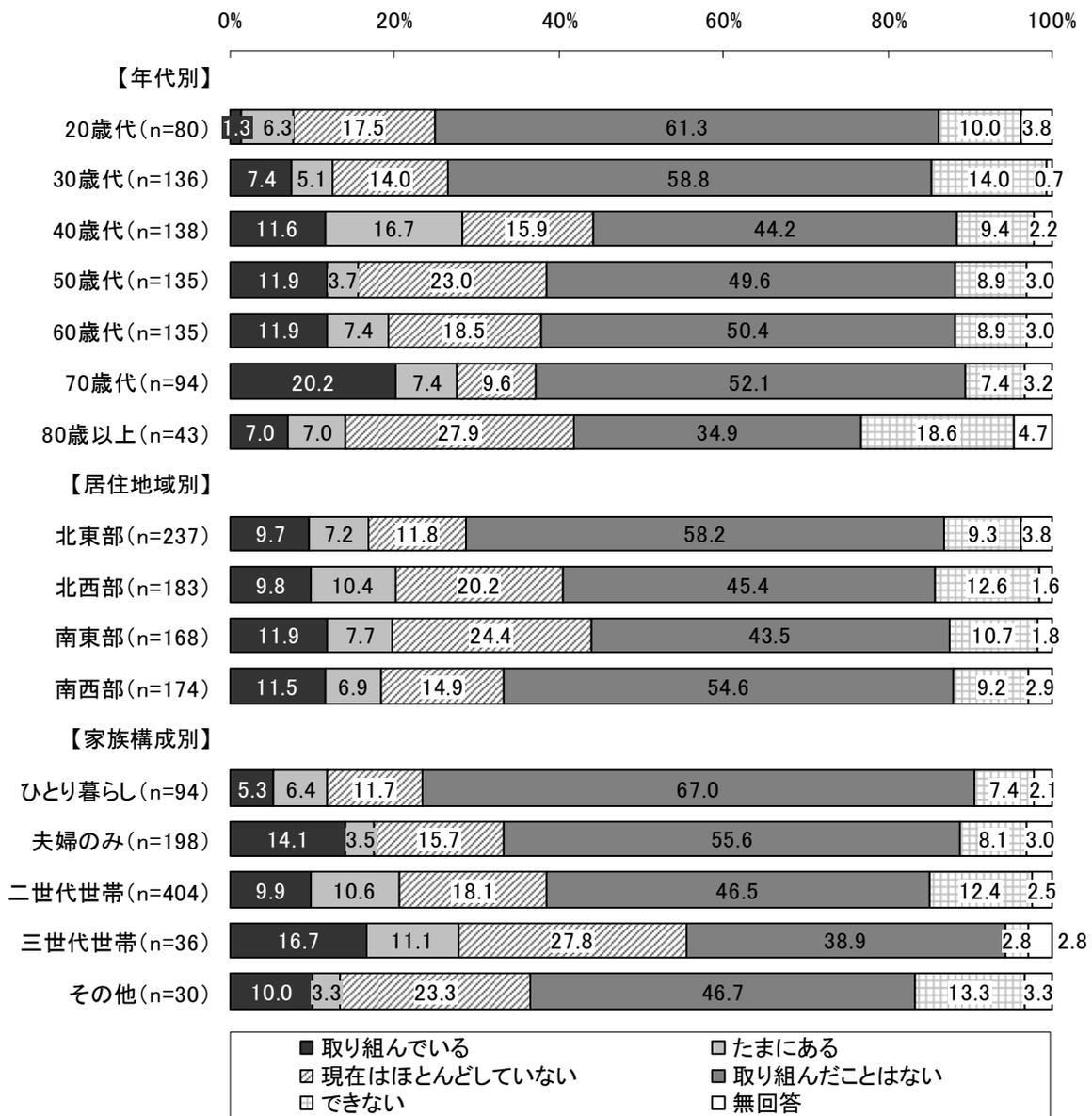
居住地域別にみると、南部（南西部・南東部）で「取り組んでいる」が1割を超え、比較的多くなっています。また、北西部と南西部では「現在はほとんどしていない」が2割を超え、比較的多くなっています。

家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、「取り組んでいる」と「たまにある」を合わせた『取り組んだことがある』の割合が上昇しています。また、三世帯世帯で「現在はほとんどしていない」が3割弱となっています。

問23 n=768



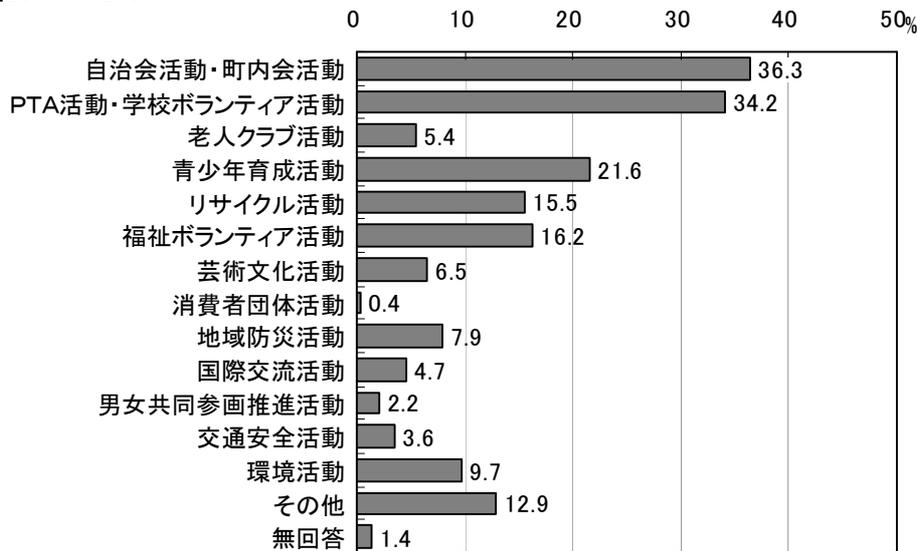
■年代／居住地／家族構成別



**問 23-1 《問 23 で「現在、継続的に取り組んでいる」「たまに、取り組むことがある」「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」と答えた方》  
どんな活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)**

取り組み内容については、「自治会活動・町内会活動」が 36.3%と最も多く、次いで「PTA活動・学校ボランティア活動」が 34.2%、「青少年育成活動」が 21.6%となっています。

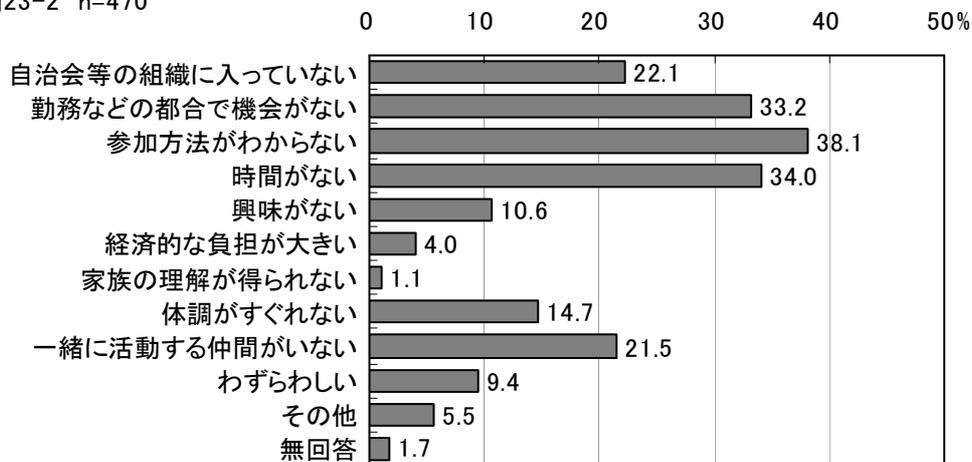
問23-1 n=278



**問 23-2 《問 23 で「取り組んだことはない」「取り組むことができない」と答えた方》  
現在活動していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

現在活動していない理由については、「参加方法がわからない」が 38.1%と最も多く、次いで「時間がない」が 34.0%、「勤務などの都合で機会がない」が 33.2%となっています。

問23-2 n=470



**問 24 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(ひとつだけ○)**

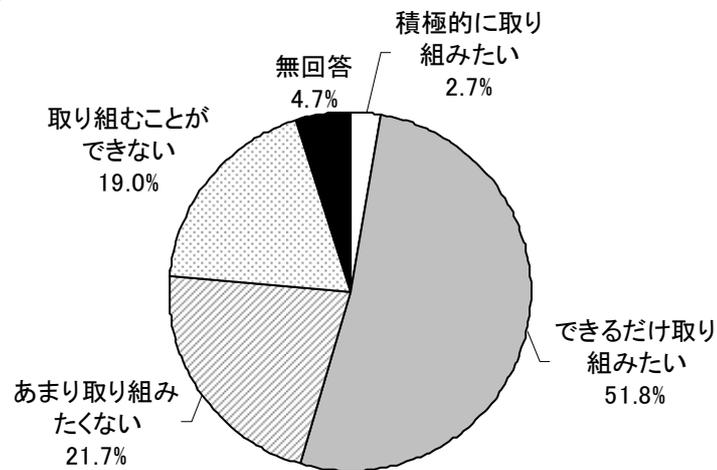
今後の取り組みへの意向については、「積極的に取り組みたい」と「できるだけ取り組みたい」を合わせた『取り組みたい』が54.5%と半数を超えています。

年代別にみると、80歳以上では「取り組むことができない」が4割以上と最も多くなっていますが、その他の年代では「できるだけ取り組みたい」が半数前後で多くなっています。

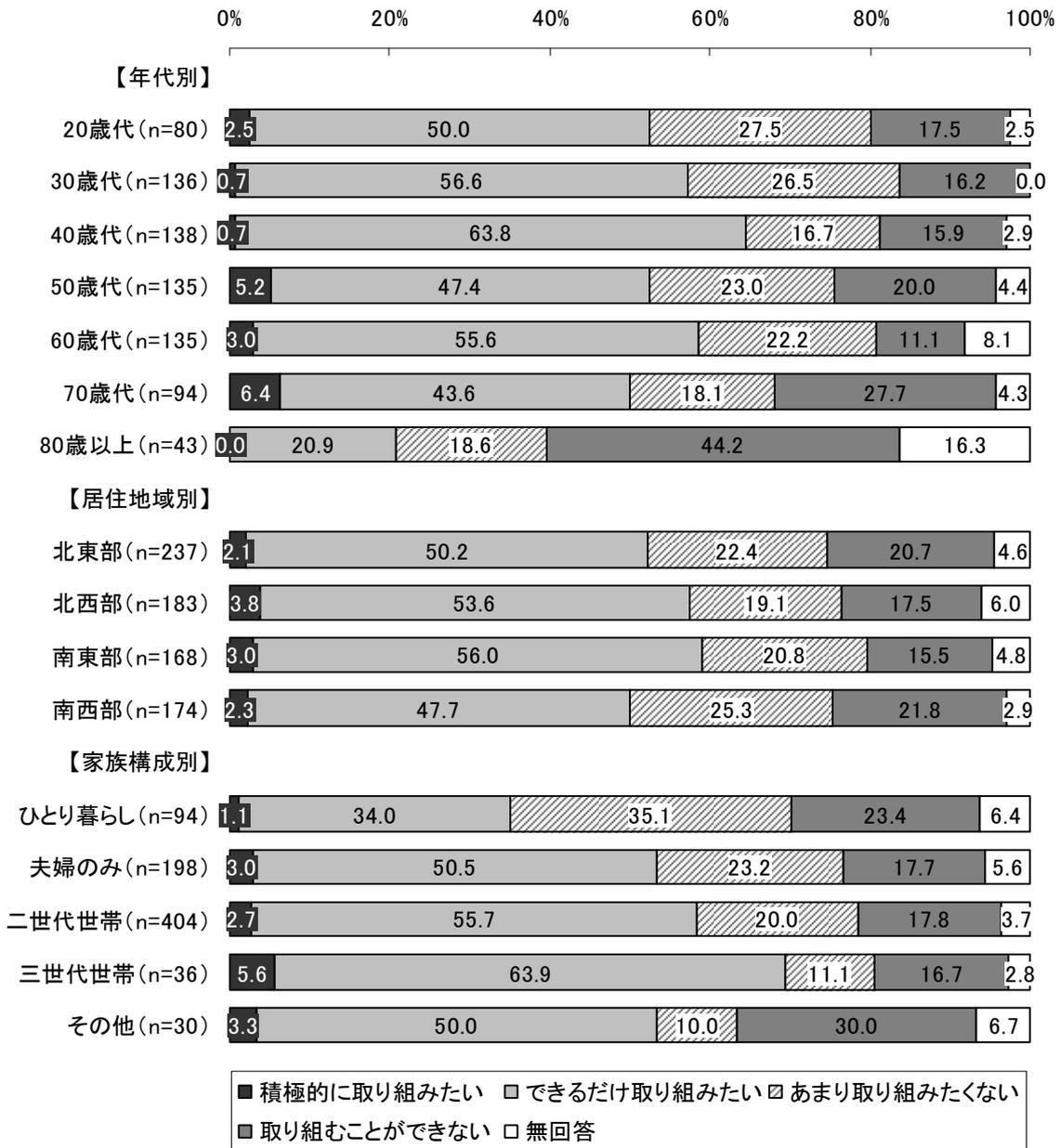
居住地域別にみると、すべての地域で「できるだけ取り組みたい」が最も多くなっています。

家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、『取り組みたい』の割合が上昇しています。

問24 n=768



■年代／居住地／家族構成別

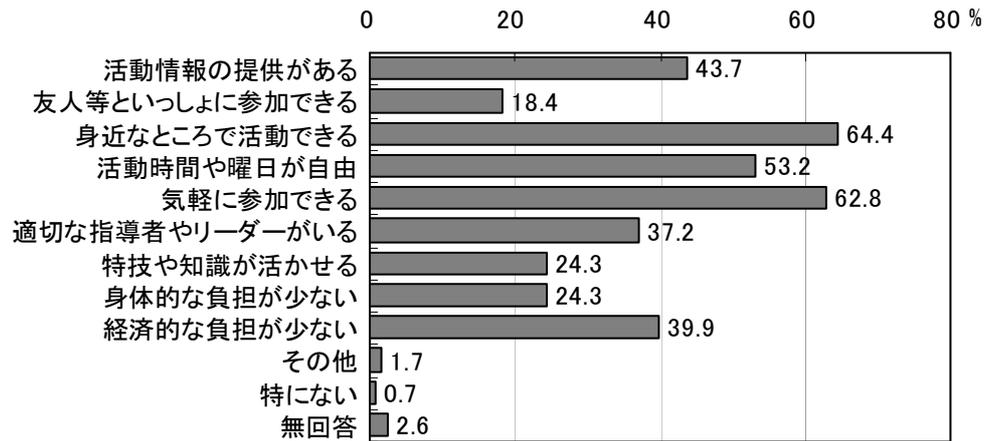


**問 24-1 《問 24 で「積極的に、取り組んでいきたい」「できるだけ取り組んでいきたい」と答えた方》**

**どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)**

活動・参加の条件については、「身近なところで活動できる」が 64.4%と最も多く、次いで「気軽に参加できる」が 62.8%、「活動時間や日時や曜日が自由」が 53.2%となっており、身近な場所で気軽に自由に活動できることが重要視されていることがうかがえます。

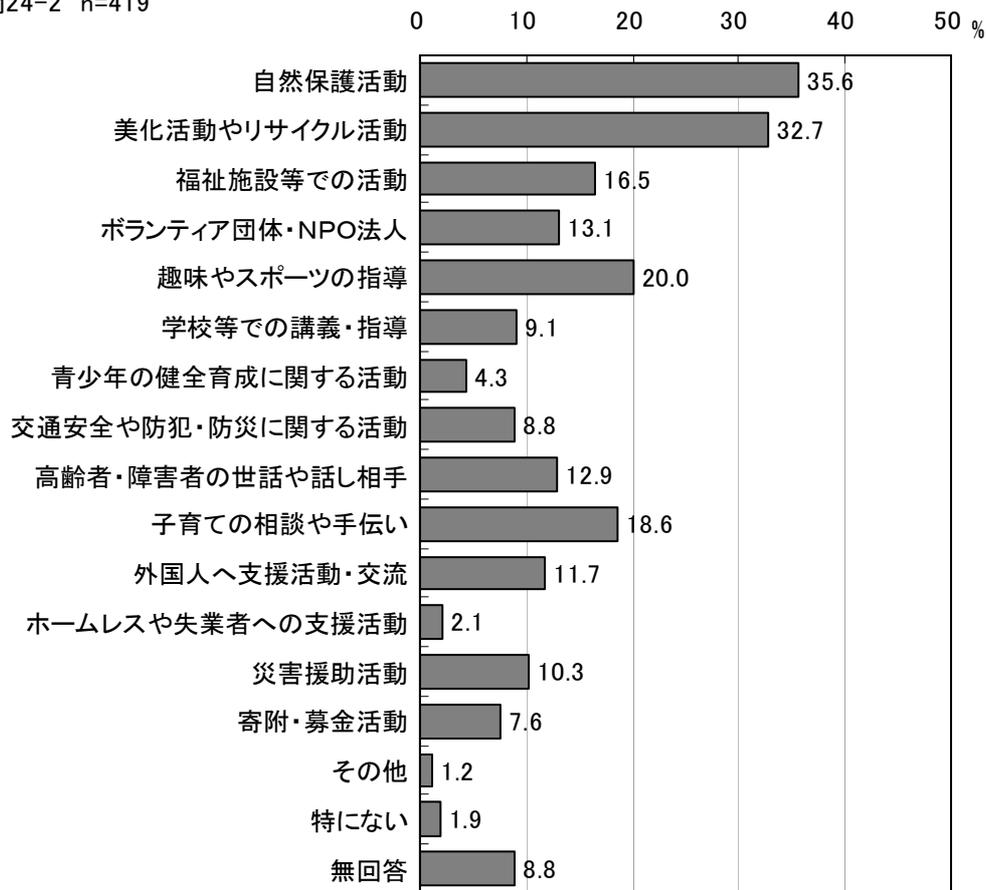
問24-1 n=419



**問 24-2 《問 24 で「積極的に、取り組んでいきたい」「できるだけ取り組んでいきたい」と答えた方》**  
**あなたが今後してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等は何ですか。(〇は3つ以内)**

今後取り組みたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等については、「自然保護活動」が35.6%と最も多く、次いで「美化活動やリサイクル活動」が32.7%、「趣味やスポーツの指導」が20.0%となっています。

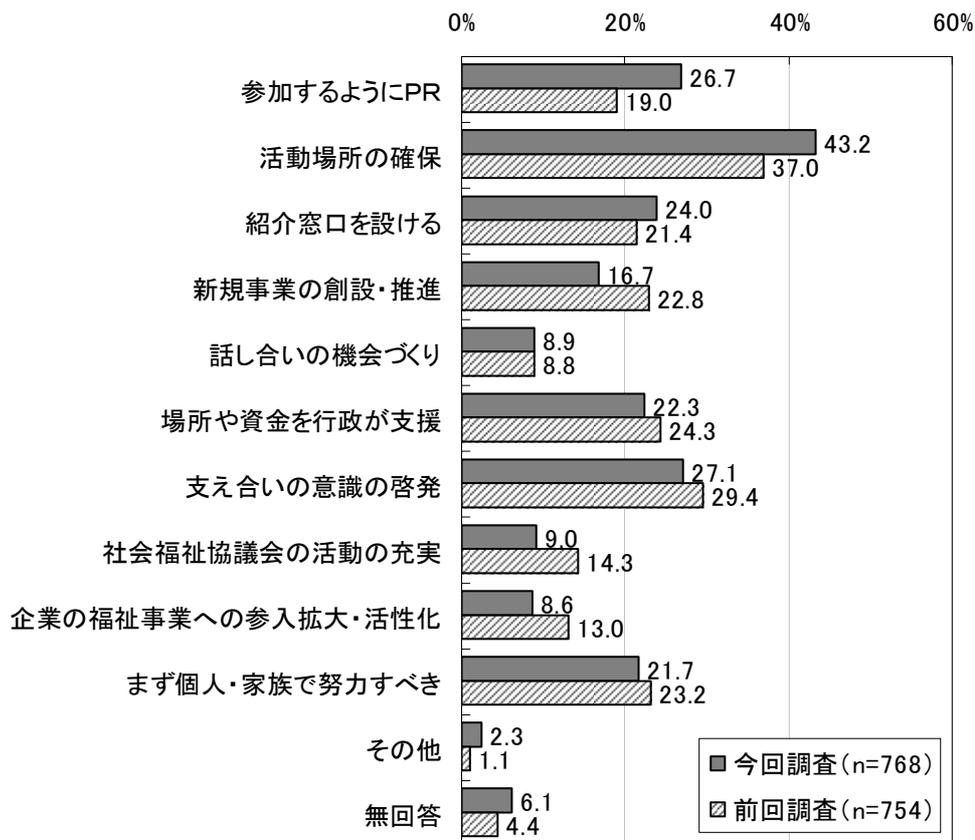
問24-2 n=419



**問 25 地域の支え合いの仕組みづくりで、あなたが特に必要であると思うことは何ですか。**  
**(〇は3つ以内)**

地域の支え合いの仕組みづくりで特に必要だと思うことについては、「活動場所の確保」が43.2%と最も多く、次いで「支え合いの意識の啓発」が27.1%、「参加するようにPR」が26.7%となっています。

前回調査との比較では、「参加するようにPR」、「活動場所の確保」が今回調査で5ポイント以上上昇しているのに対し、「新規事業の創設・推進」、「社会福祉協議会の活動の充実」では5ポイント以上減少しています。

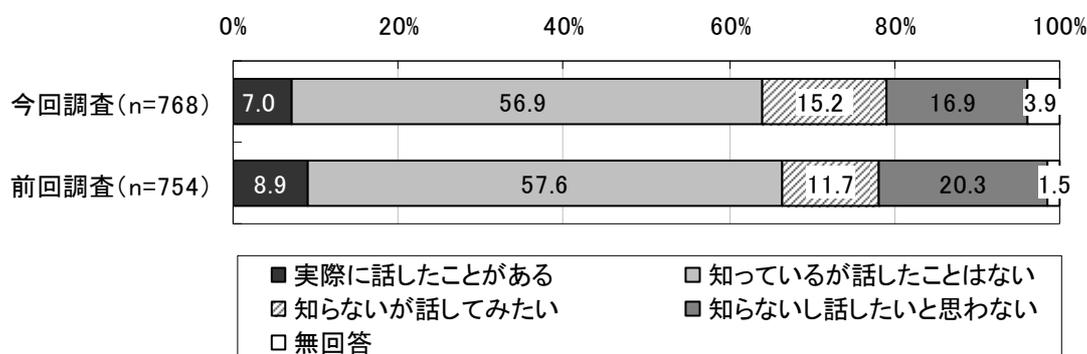


## 5. 福祉サービスなどについて

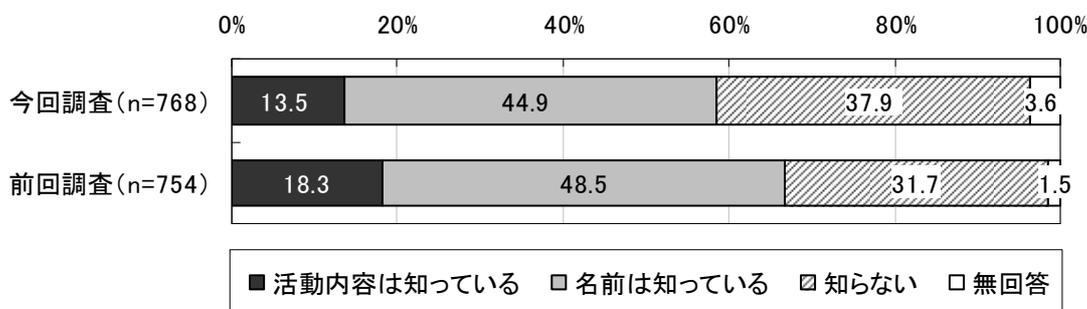
問 26 あなたは、次の福祉関係団体等について、どの程度ご存知ですか。（それぞれひとつだけ〇）

福祉関係団体の認知度については、①民生委員・児童委員は、今回調査、前回調査とも「知っているが話したことはない」が半数以上と最も多くなっており、その傾向に大きな変化はみられません。②社会福祉協議会は、今回調査で「活動内容は知っている」と「名前は知っている」の『知っている』が1割弱減少しています。③シルバー人材センターは、傾向に大きな変化はみられないものの、『知っている』がやや減少しています。

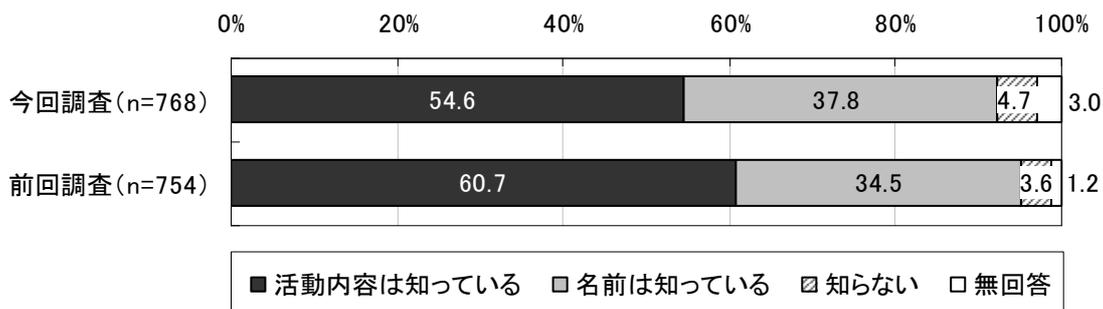
### ①民生委員・児童委員



### ②社会福祉協議会

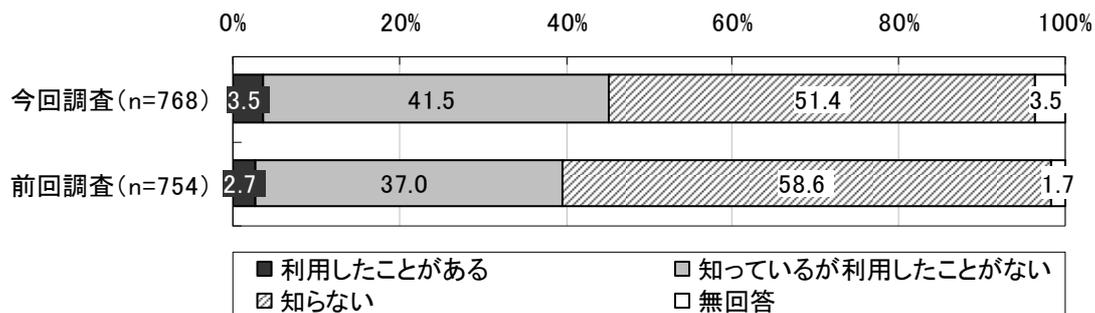


### ③シルバー人材センター

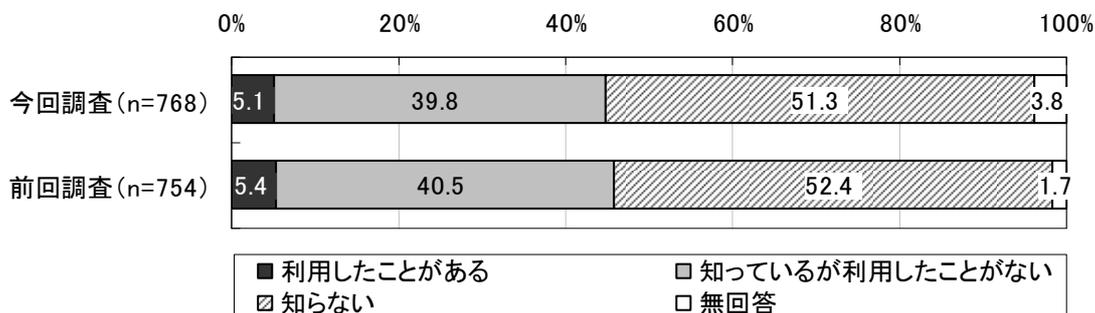


④福祉NPO団体は、今回調査で「知らない」が減少し、「利用したことがある」「知っているが利用したことがない」がともにやや上昇しています。⑤民間企業による福祉サービスは、その傾向に大きな変化はみられず、「知らない」が半数以上を占めています。⑥福祉サービス苦情調整委員（福祉オンブズマン）は、「知らない」が7割以上を占め、名前や活動内容を知っている割合は2割強となっています。

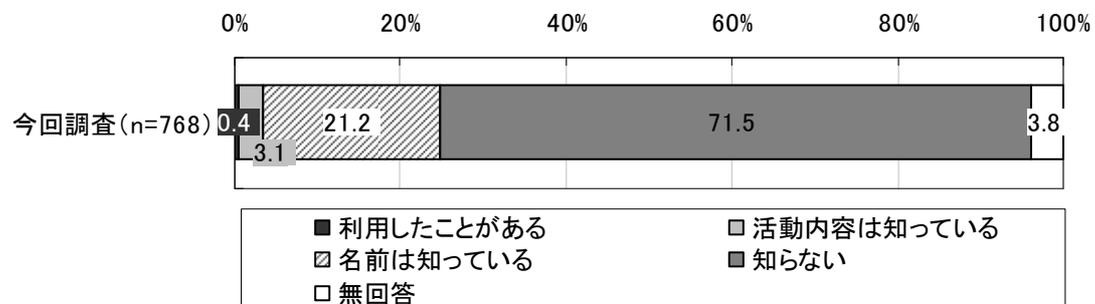
#### ④福祉NPO団体



#### ⑤民間企業による福祉サービス



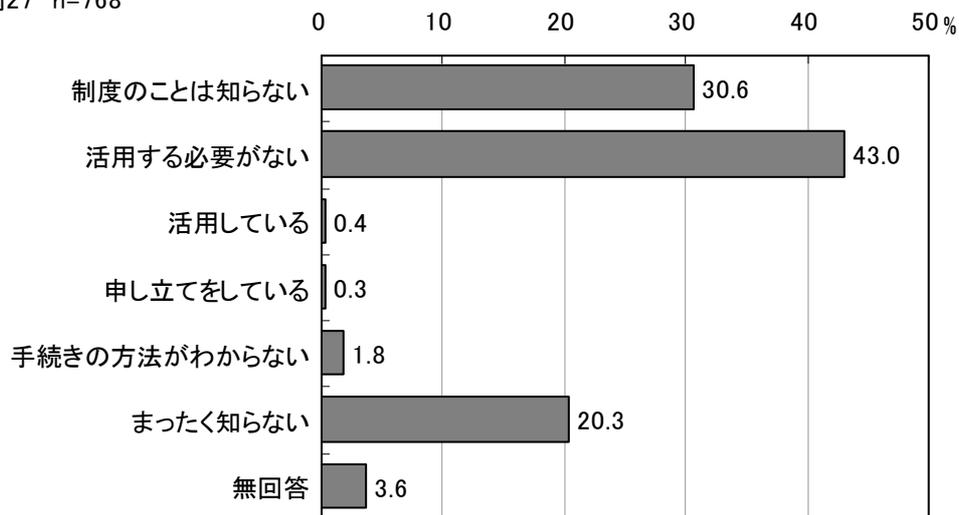
#### ⑥福祉サービス苦情調整委員（福祉オンブズマン）



**問 27 「成年後見制度」とは、本人が障害や認知症などで判断能力が十分でない場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度ですが、あなたはこの制度について知っていますか。(ひとつだけ○)**

「成年後見制度」の認知度については、「活用する必要がない」が 43.0%と最も多く、次いで「制度のことは知らない」は 30.6%、「まったく知らない」が 20.3%となっており、『知らない』と回答した方が約半数となっています。

問27 n=768



**問 28 あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか。(ひとつだけ○)**

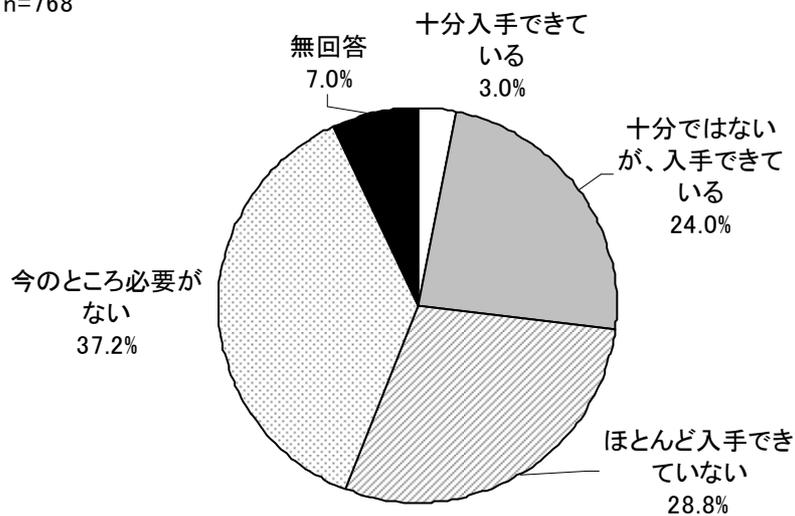
必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているかについては、「今のところ必要がない」が37.2%と最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」が28.8%、「十分ではないが、入手できている」が24.0%となっています。

年代別にみると、80歳以上では「十分入手できている」が1割を超えて比較的多くなっているものの、20～60歳代では「今のところ必要がない」、70歳以上では「十分ではないが、入手できている」が最も多くなっています。

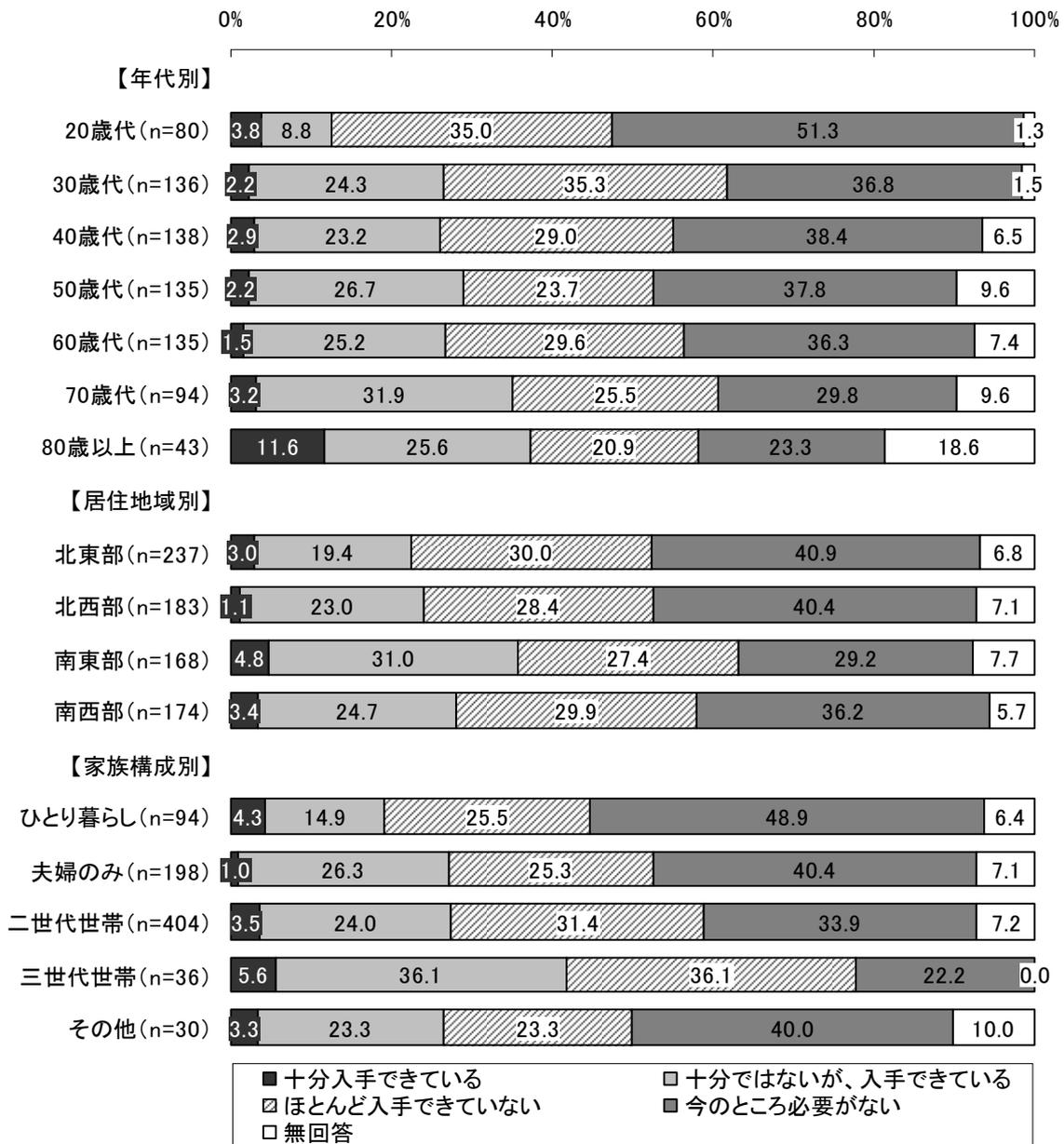
居住地域別にみると、南東部で「十分ではないが、入手できている」が3割を超え、比較的多くなっています。

家族構成別にみると、世帯の構成人数が増えるほど、「十分入手できている」と「十分ではないが、入手できている」を合わせた『入手できている』の割合が上昇しています。

問28 n=768



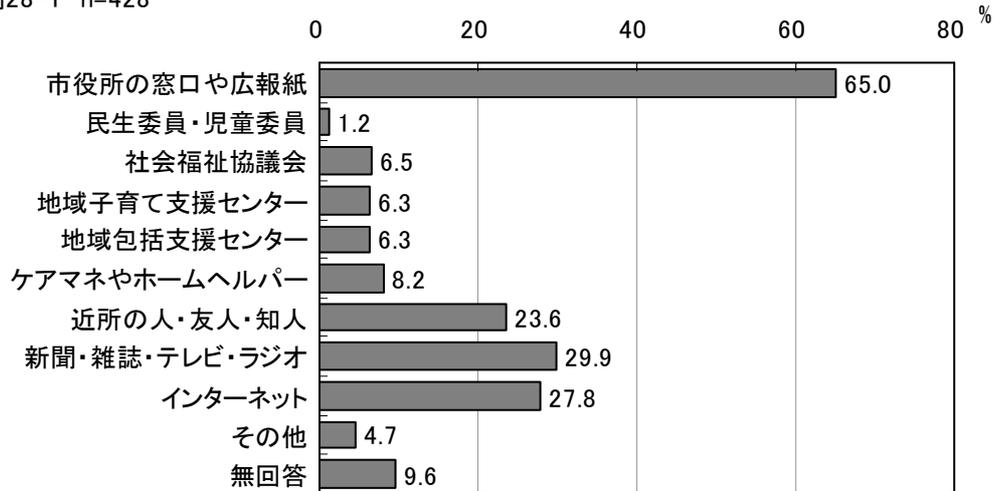
■年代／居住地／家族構成別



**問 28-1 《問 28 で「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」「ほとんど入手できていない」と答えた方》**  
**あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)**

福祉サービスに関する情報の入手源については、「市役所の窓口や広報紙」が 65.0%と最も多く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が 29.9%、「インターネット」が 27.8%となっています。

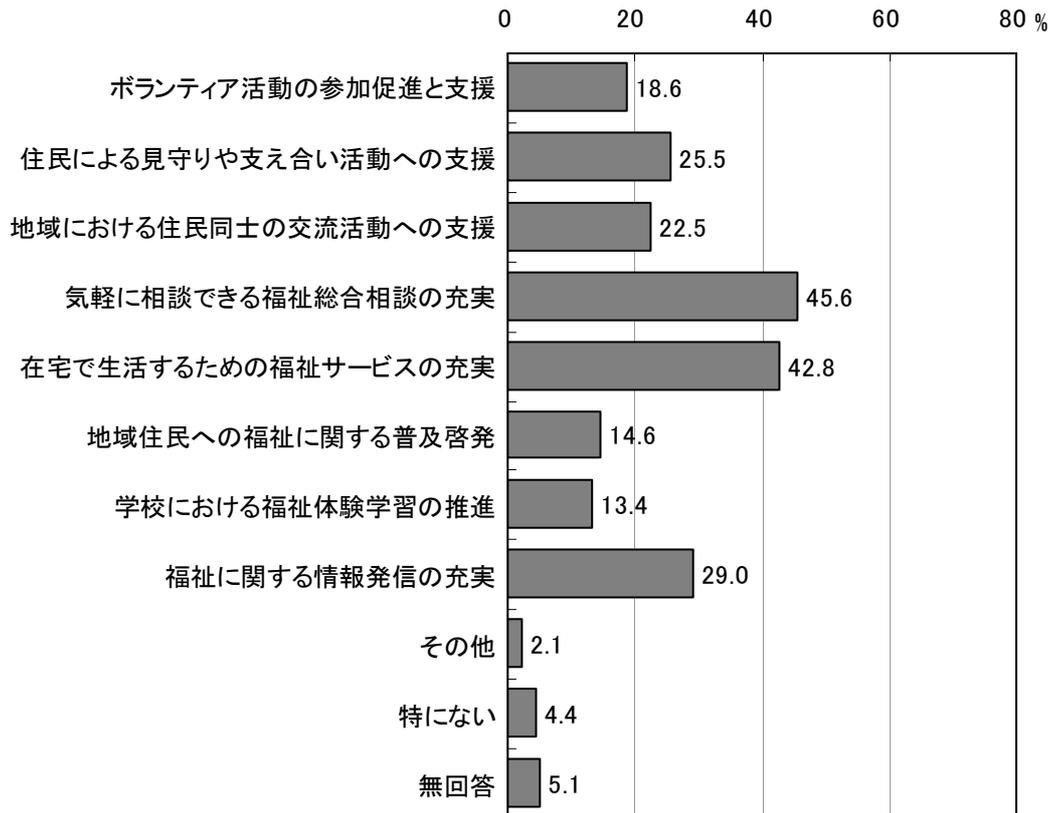
問28-1 n=428



**問 29 社会福祉協議会は、様々な福祉問題の解決に向けて活動や支援を行っていますが、社会福祉協議会の行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。  
(〇は3つ以内)**

社会福祉協議会の行う活動・支援として、今後、充実してほしいものについては、「気軽に相談できる福祉総合相談の充実」が45.6%と最も多く、次いで「在宅で生活するための福祉サービスの充実」が42.8%、「福祉に関する情報発信の充実」が29.0%となっています。

問29 n=768



## 6. 保健福祉施策などについて

### 問 30 小金井市の保健福祉施策(サービス)について、あなたはどのように感じていますか。 (ひとつだけ○)

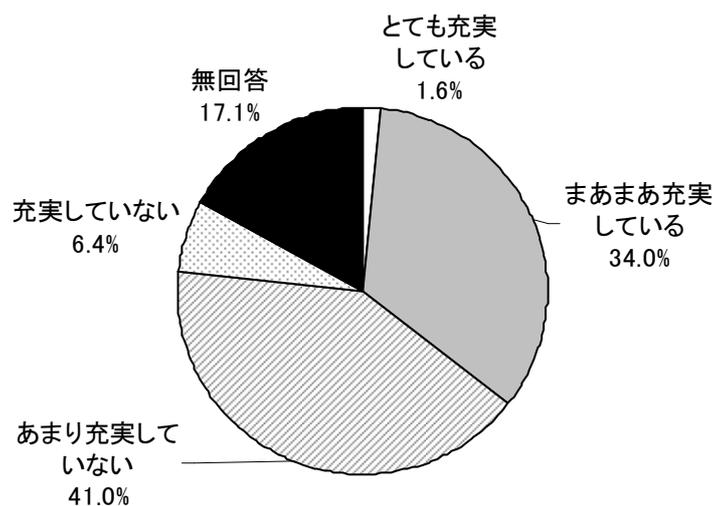
小金井市の保健福祉施策(サービス)をどのように感じているかについては、「あまり充実していない」が41.0%と最も多く、「とても充実している」と「まあまあ充実している」を合わせた『充実している』の35.6%をやや上回っています。

年代別にみると、70歳以上で『充実している』の割合が比較的高く、半数を超えています。しかし、その他の年代では「あまり充実していない」が最も多くなっています。

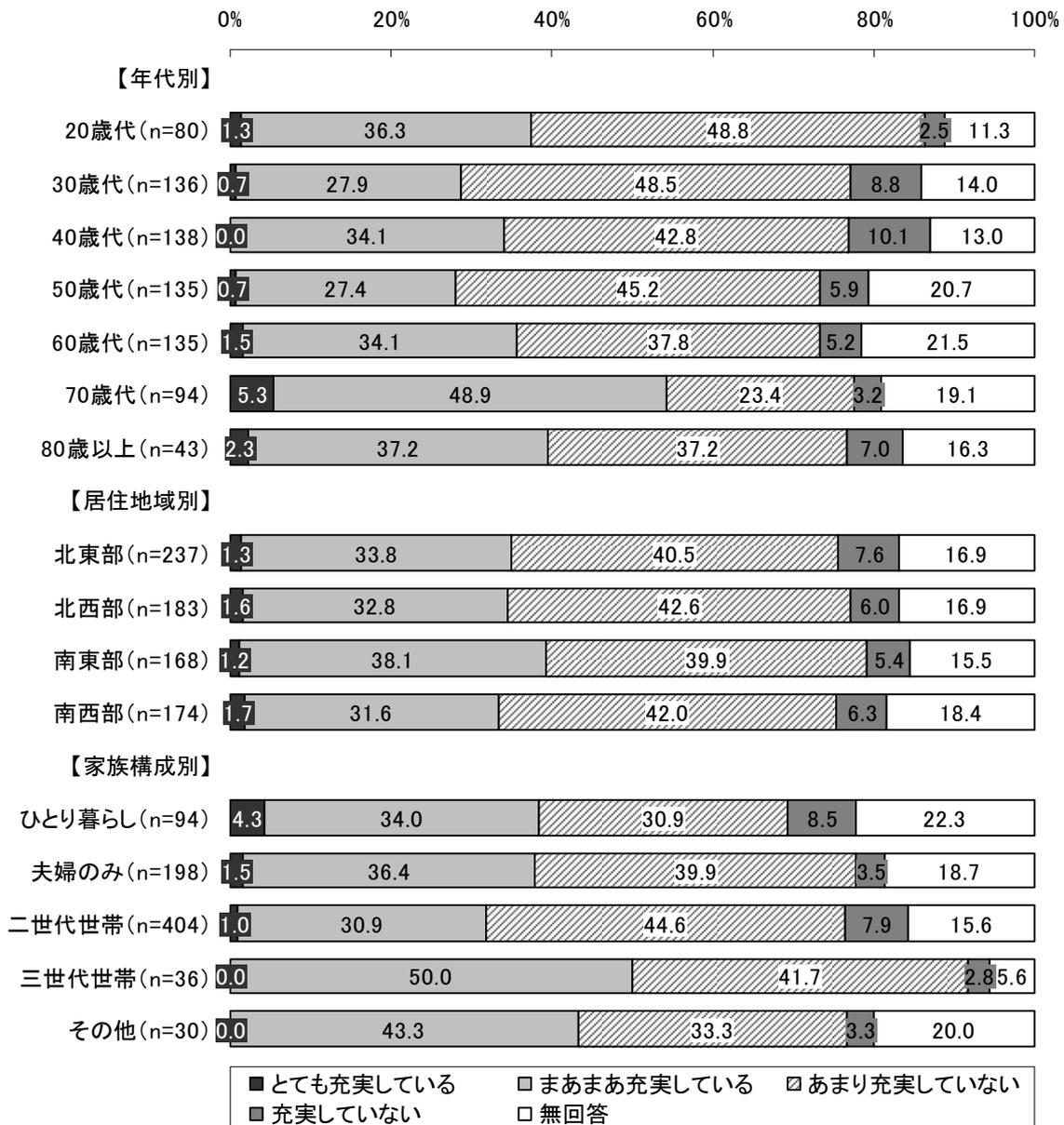
居住地域別にみると、南東部で『充実している』の割合がやや高くなっているものの、すべての地域で「あまり充実していない」が最も多くなっています。

家族構成別にみると、三世帯世帯で「まあまあ充実している」が5割となっているほか、ひとり暮らし世帯やその他の世帯でも「まあまあ充実している」が多くなっています。しかし、夫婦のみの世帯や二世帯世帯では「あまり充実していない」が最も多くなっています。

問30 n=768



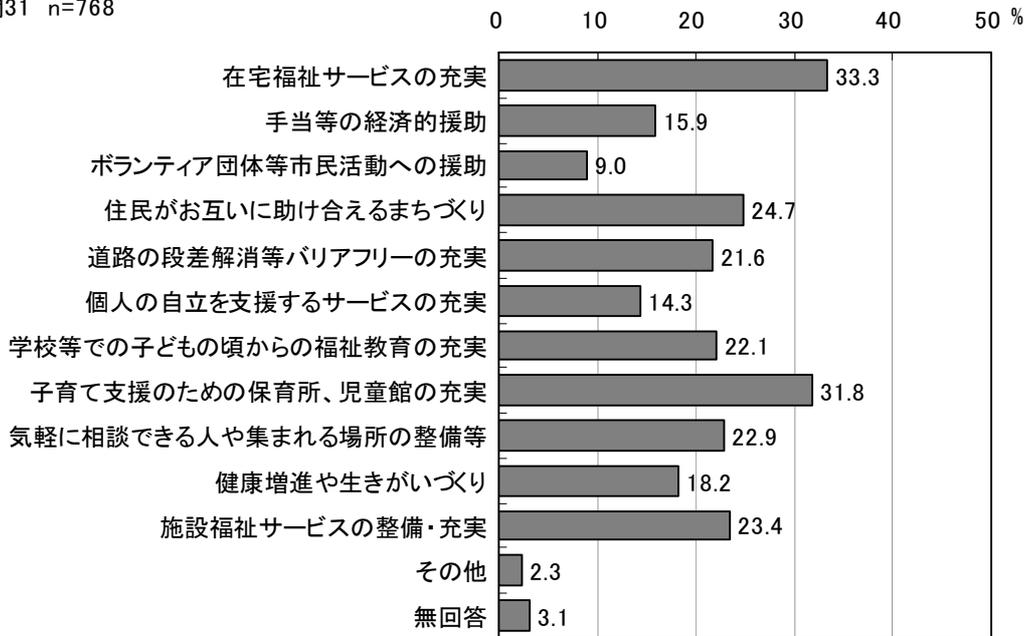
■年代／居住地／家族構成別



**問 31 あなたは、これからの小金井市の福祉は何を重点にすべきだと思いますか。**  
**(〇は3つ以内)**

小金井市の福祉で重視すべきことについては、「在宅福祉サービスの充実」が 33.3%と最も多く、次いで「子育て支援のための保育所、児童館の充実」が 31.8%、「住民がお互いに助け合えるまちづくり」が 24.7%となっています。

問31 n=768



**問 32 あなたは小金井市をどのような『福祉のまち』にしたいと思いますか。**

(〇は3つ以内)

小金井市をどのような『福祉のまち』にしたいかについては、「介護が必要になっても、安心して施設を利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」が55.9%と最も多く、次いで「高齢者や障害のある人も安心して生活できるまち」が50.0%、「子どもが心身ともに健やかに育まれるまち」が42.4%となっています。

前回調査との比較では、今回調査で「介護が必要になっても、安心して施設を利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」と「いつまでも生きがいをもって、健康に生活できるまち」で前回調査よりも5ポイント以上減少しています。

